

CIAS Discussion Paper No.9

ポスト社会主義諸国 政党・選挙ハンドブック I

ポスト社会主義諸国の政党・選挙データベース作成研究会 編



京都大学地域研究統合情報センター

CIAS Discussion Paper No.9

A Handbook of Political Party and Election in the Post-socialist Countries I

© Center for Integrated Area Studies, Kyoto University
46 Shimoadachi-cho, Yoshida Sakyo-ku, Kyoto-shi,
Kyoto, 606-8501, Japan

TEL: +81-75-753-9603

FAX: +81-75-753-9602

E-mail: ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp

<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp>

March, 2009

目次

はしがき	4
------------	---

ポーランド政党・選挙データ	仙石 学	5
1. 政治制度と選挙制度		6
2. 主要政党の概要		7
3. 第3共和国の歴代大統領		15
4. 1991年選挙後の歴代内閣		16
5. 資料		17

スロヴァキア政党・選挙データ	林 忠行	29
1. 政治制度と選挙制度		30
2. 主要政党の概要		31
3. 1989年12月以降の歴代内閣		39
4. 資料		40

エストニア政党・選挙データ	小森 宏美	47
1. 政治制度と選挙制度		48
2. 主要政党の概要		49
3. 1992年選挙後の歴代内閣		51
4. 資料		52

はしがき

本『ポスト社会主義諸国 政党・選挙ハンドブック I』は、京都大学地域研究統合情報センター(以下、地域研)の共同研究会「ポスト社会主義諸国の政党・選挙データベース作成」(以下、政党・選挙DB研究会)での議論およびデータ収集の副産物である政党・選挙データの一部を、研究会の外に開かれた利用に供することを目的とした資料集です。政党・選挙DB研究会は、選挙関連データの収集に特化した研究会として2年間の活動を行ってきました。また、科学研究費補助金「EU加盟後の中東欧諸国の政策変容の比較分析」(2006-2008年度、研究代表者：仙石学・西南学院大学教授)、ならびに「旧ソ連・東欧地域における体制転換の総合的比較研究」(2005-2008年度、研究代表者：林忠行・北海道大学教授)、「ポスト・グローバル化時代の現代世界：社会の脆弱化と共存空間の再編」(2006-2008年度、研究代表者：押川文子・京都大学地域研究統合情報センター教授)との密接な研究協力により、収集されたデータの利用方法や分析方法について議論を深めてきました。したがって、本冊子は、上記3科学研究費補助金によるプロジェクトの成果でもあります。

政党・選挙DB研究会では、旧ユーゴスラヴィアも含め17か国を対象としてデータ収集を行いました。収集された全データについては、<http://www.seinan-gu.ac.jp/~sengoku/database/>で利用できます。さらに、検索可能なデータベースとして地域研のホームページで近日中に公開される予定です。

また、科学研究費補助金「ポスト・グローバル化時代の現代世界」の下で、ラテン・アメリカ諸国についても同種のデータ収集および公開準備を行っており、今後、ポスト社会主義諸国の枠を超えて、比較分析することが可能になる予定です。

編 者



ポーランド政党・選挙データ

1. 政治制度と選挙制度

- 1-1 議会制度と議会選挙(下院・上院)
- 1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

2. 主要政党の概要

- 2-1 AWS (AWSP を含む)
- 2-2 BBWR
- 2-3 KPEiR
- 2-4 KPN
- 2-5 LPR
- 2-6 MN他ドイツ系政党
- 2-7 PD (前身のUD/KLD/UWを含む)
- 2-8 PiS(前身のPCを含む)
- 2-9 PO(PORP)
- 2-10 PSL
- 2-11 ROP
- 2-12 Samoobrona
- 2-13 SLD(SDPIを含む)
- 2-14 UP
- 2-15 ZChN

3. 第3共和国の歴代大統領

4. 1991年選挙後の歴代内閣

5. 資料

1 政治制度と選挙制度

1-1 議会制度と議会選挙

議会制度のあらまし

ポーランドの議会は、定数460の下院(セイム: Sejm)と定数100の上院(セナート: Senat)からなる。いずれも任期は4年で、下院は解散があるが、下院が解散すると上院も同時に解散となり、選挙は同時に行われる。両院の関係としては、下院は閣僚会議議長(首相)の信任(任命)および不信任を行うことと、下院が採択した法案を上院が修正ないし否決した際に、議員定数の半数以上の出席する会議において絶対多数の賛成があれば、上院の決定を覆すことができることで、下院に一定の優越が認められている。議会選挙への選挙権については、被選挙権が18歳以上、被選挙権は下院が21歳以上、上院が30歳以上と定められている。

1991年選挙

1991年の選挙法(下院: Dziennik Ustaw z.1991r, Nr. 59, poz.252、上院: Dziennik Ustaw z.1991r, Nr.58, poz.246)では、下院の460議席のうち391議席は52の地方選挙区(1選挙区あたりの定数は最小3名、最大17名)で、残りの69議席は全国区として地方選挙区での得票率5%以上の政党に優先的に配分される。選挙は非拘束名簿式比例代表制で、有権者は特定の候補に投票を行うと、それがその候補の属する政党への票として扱われる。そして各政党の獲得議席に応じて、その政党の中で上位の票を獲得した候補から議席が与えられる。ただし全国区には拘束名簿があり、各政党の票の全国集計により名簿の上位から議席が配分される。議席数の計算方法は地方区がヘア・ニーマイヤー式、全国区が修正サンラゲ式である。阻止条項および少数民族条項は存在しないが、全国区議席の獲得には有効投票数の5%の得票、もしくは5選挙区以上での議席獲得が必要とされた、上院は当時の全国の49県を選挙区として、1県の定数は2名(ただし当時のワルシャワ県とカトヴィツェ県は3名)、単純多数代表制で、上位の候補2(3)名に議席が与えられる。

1993年および1997年選挙

下院については1993年に選挙法の改正が行われた(Dziennik Ustaw z.1993r, Nr. 45, poz.205)。下院460議席の内391議席が52の地方選挙区、残りの69議席が全国区に割り当てられる点は1991年選挙と同じであるが、全国区での得票基準が7%に引き上げられた。また阻止条項が導入され、政党の場合得票率5%、政党連合の場合7%を全国において獲得できなかった場合、議席は配分されない。またこれと同時に少数民族条項も導入され、選挙管理委員会が少数民族組織としての登録を認めた場合、阻止条項は適用されない。選挙の方式は1991年選挙と同じだが、議席数の計算方法は地方区・全国区ともドント式に変更された。上院の制度は、1991年選挙法がそのまま適用されている。

2001年以降の選挙(現行の制度)

この年から下院と上院の選挙制度が、同じ法律において定められることとなった(Dziennik Ustaw z.2001r, Nr. 46, poz.499)。下院においては全国区が廃止され、460の議席が全国41の選挙区に配分されることとなった(1選挙区あたりの定数は最小7名、最大19名)。選挙の方式

は従前のままだが、議席数の計算方式が修正サンラゲ式に変更された。上院については地方制度の改革に伴い選挙区が改められ、全国40選挙区に2議席から4議席の議席が配分されることとなったが、それ以外の点の変更はない。

1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

大統領の選出方法は、1990年に発効したポーランド共和国大統領選挙法 (Dz. U.1990, Nr. 67, poz. 398)、および1997年に発効したポーランド共和国憲法 (Dz. U. 1997, Nr. 78, poz. 483) により規定されている。大統領はポーランド市民の直接選挙により選出される。大統領選の選挙権を有するのは18歳以上のポーランド市民であり、被選挙権を有するのは35歳以上のポーランド市民で、有権者10万人の推薦署名を集めた者とされる。選挙は2回投票制で、1回目の投票で過半数の票を獲得した候補がいた場合にはその候補が当選となり、過半数の票を獲得した候補がいない場合には、上位2名が2回目の選挙に進み、そこで得票の多い者が選出される。

大統領の権限は、主として外交および軍事に関する側面を中心とするが(憲法133条および134条)、議会との関係では大統領は閣僚会議議長(首相)の最初の任命権を有し、また国会が採択した法案について、これを下院に再送付するか(いわゆる拒否権)、憲法裁判所にその合憲性の審議を求めることができる。前者の場合、下院は議員定数の半数以上の出席する会議において、出席者の5分の3以上の賛成で、大統領の拒否権を覆すことができる。

2 主要政党の概要

2-1 AWS (Akcja Woborcza “Solidarność”): 連帯選挙行動 (AWS P (Akcja Woborcza “Solidarność” Prawicy): 連帯選挙行動右派を含む)

1996年6月8日、自由独立労組「連帯」と、かつての反共産主義体制運動に由来する政党・組織が協定を締結することで成立した、1997年の総選挙での政権獲得を目的とした選挙連合。連合には「連帯」の他、キリスト教系の政党や団体、非キリスト教系の中道・右派政党、あるいは各種の社会運動組織など40近くの組織が参加していたとされるが、出入りが頻繁なため正確な参加組織の数は確認されていない。キリスト教を基盤とする伝統的な価値を重視する政党連合で、経済的には市場経済を基盤としつつも、国家の役割をも同時に重視し、労使の継続的対話や農村の開発・現代化の必要も主張している点、およびキリスト教の伝統と結びついた欧州連合への復帰を支持している点で、おおよそ穏健保守の立場に位置づけることが出来る。1997年の選挙で下院において得票率33.8%を、201議席を獲得、また上院においても過半数の51議席を獲得して両院で第1党となり、ブゼクを首班として自由連合と連立政権を形成する。だがAWSに参加した組織の間では政権獲得後も路線の違いが存在し、少なくとも主流派のグループ(労働組合「連帯」、およびAWS社会運動(Ruch Społeczny AWSなど)、保守リベラルのグループ(保守人民党(SKL: Stronnictwo Konserwatywno-Ludowe)など)、ナショナル・カトリック系のグループ(カトリック国民連盟(ZChN)など)、そしてキリスト教民主主義系のグループ(ポーランドキリスト教民主主義連盟(PPChD: Porozumienie Polskich Chrześcijańskich Demokratów)など)と4つの潮流が存在していたとされる。し

かも2000年以降、代表であったクシャクレフスキ (Marian Krzaklewski) の大統領選挙での敗北、および財政危機や「4大改革(地方制度・年金・医療・教育)」をめぐる混乱から連帯選挙行動は支持率を大きく落とし、2001年に入ると市民プラットフォーム (PO)、法と正義 (PiS)、そして選択枝-社会運動 (Alternatywa-RS) が次々と離脱していく。そして2001年の選挙では、残された社会運動、カトリック国民連盟、ポーランドキリスト教民主主義連盟を軸として選挙連合「連帯選挙行動右派 (AWS P)」を結成して選挙に参加するものの得票率は5.6%にとどまり、選挙連合に要求される8%の阻止条項をクリアできず議会での議席を喪失した。その後は主要勢力が脱退し、AWSは自然消滅した(関連する各政党も参照)。

2-2

BBWR (**Bezpartyjny Blok Wspierania Reform**): 改革支援無党派ブロック

大統領ワウエンサの議会における影響力を強めることを目的として結成された「大統領与党」で、1993年3月26日に当時の大統領ワウエンサ (Lech Wałęsa) の出席のもとで結成大会が開かれた「改革のための無党派フォーラム」が、選挙登録の際にピウスツキを想起させるBBWRの名称に変更して成立した。大統領権限の強化を主張し、経済政策については民営化指向とされる。1993年の選挙で下院において得票率5.41%、16議席、上院において2議席を獲得し、その後11月30日に正式に政党として登録を行う。1996年には名称を「改革支援無党派ブロック-ポーランドのためのブロック (BBWR-BdP)」に変更し、キリスト教系を軸とする中道右派の幅広い支持を獲得することを追求するが、主要なグループが連帯選挙行動に参集したことからブロック側は支持を広げることが難しくなり、1997年の選挙では選挙連合「改革支援無党派ブロック-ポーランドのためのキリスト教民主主義ブロック (BBWR-CNDBdP: 選挙管理委員会の略称ではBdPとのみ記載)」を結成して選挙に臨むものの、1.36%しか得票できずに惨敗。その後1998年3月に、「ポーランドのためのブロック (BdP: Blok dla Polski)」という政党に転換するも、2003年以降は活動を停止している。

2-3

KPEiR (**Krajowa Partia Emeritów i Rencistów**): 全国年金者党

〈<http://www.kpeir.pl/>〉

1991年以来各地で設立された年金者組織のうち、ビドゴシチ、ウッチ、トルン、コシャリンの4組織が、合同して設立した政党(1994年6月4-5日に、トルン均衡のプシシェクで統一大会を実施。ただし政党として登録したのは政党法の改正後の1998年1月10日)。広く年金者の代表としてその利益を守り、貧困や政治的差別を防ぐことを目的としているが、旧統一労働者 (PZPR: Polska Zjednoczona Partia Robotnicza) のメンバーが多く参加していることから「ポスト共産主義系」と見なされることもあった。1997年選挙では、同党を「左派的」とみた勢力がポーランド共和国全国年金者党連盟 (KPEiR RP: Krajowe Porozumienie Emeritów i Rencistów Rzeczypospolitej Polskiej) を設立して選挙に候補を立てたことで両党が票を奪い合う結果になり、結局KPEiRは得票率2.18%で議席は獲得できなかった(KPEiR RPは得票率1.63%)。その後1998年の統一地方選挙の際には、PSLとUPが結成した選挙連合「社会同盟 (Przymierze Społeczne)」に参加。また2001年の選挙の際は、他の中道・左派系政党とともに選挙連合SLD-UPに参加し、2議席を獲得している。だが2002年の地方選挙の際、ワルシャワ市の市長選挙において左派系のバリツキ (Marek Balicki) ではなくオレホ

フスキ (Andrzej Olechowski) を支援したことから、SLD-UPは議会団からKPEiRの議員を除名し、両者の関係は決裂。2004年の欧州議会選挙においては、リベラル系の人民民主党 (PLD: Partia Ludowo-Demokratyczna) と選挙連合を形成して候補を立てたものの、得票率0.80%で惨敗。その後は政党としての活動は継続しているものの、選挙に単独で候補を立ててはいない。

2-4

KPN (**Konfederacja Polski Niepodległej**): ポーランド独立連盟

組織が形成されたのは社会主義時代の1979年、社会主義時代の反体制組織ROPCiO (Ruch Obrony Praw Człowieka i Obywatela: 人間と市民の権利を守る運動) から形成された政党であるが、1988年までは地下活動を強いられていた。1990年8月21日に政党登録が行われ、1991年の選挙では下院で46議席 (得票率7.5%)、上院で4議席を獲得、93年の選挙でも下院で22議席 (得票率5.77%)、上院で4議席を獲得する。独立・反共産主義指向の強い中道右派政党で、ピウスツキの思想の影響を強く受けているとされる。経済政策では経済に対する適度な国家の介入の必要性を主張し、外交ではNATOは支持するがEU加盟には強く反対という立場をとっていた。1997年の選挙の前に一度は選挙連合AWSに参加するものの、名簿の掲載順をめぐる対立から選挙前の7月にはAWSを離脱、結局97年の選挙には候補を立てなかった。その後2001年には選挙連合AWSPに参加したものの、AWSPそのものが議席を獲得することができず、それ以後は実質的に活動を停止している。

2-5

LPR (**Liga Polskich Rodzin**): ポーランド家族連盟 <<http://www.lpr.pl/>>

2001年1月、ナショナル・カトリック系のラジオ局「ラディオ・マリヤ」を運営する神父リジック (Tadeusz Rydzyk) の呼びかけにより集まった約20のナショナリスト・愛国系組織により結成された「家族連盟」を前身とするが、ここに参加したメンバーの中心はナショナリスト系の国民党 (SN) およびこれと形式的に合同した国民民主党 (SND) の党员であったことから、政党組織そのものはSNDがLPRに「名称変更」を行うことで形成された (2001年5月10日に結成大会、5月30日に政党登録名の変更を届け出)。ナショナリスト及びカトリック的な政策主張が強く、特にEU加盟には強く反対するとともに、中絶や同性愛への反対の立場も明確にしている。2001年選挙においては世論調査での支持率は低迷していたにもかかわらず、下院で38議席 (得票率7.87%)、上院で2議席を獲得した (ただし2001年から2005年の会期中に議員の離反が相次ぎ、最終的には議会内議席を19にまで減らしていた)。次の2005年選挙においては下院で34議席 (7.97%)、上院で7議席を獲得し、当初はSamobronaとともにマルチンキエヴィッツ (Kazimierz Marcinkiewicz) を首班とするPiSの少数内閣を支持し、後2006年5月からは3党による保守連立政権に参加する (後に首相はヤロスワフ・カチンスキ (Jarosław Kaczyński) <カチンスキ大統領の双子の兄> に交替)。だがこのPiSとの連立をめぐる党内の対立も生じ、ラディオ・マリヤもLPRを批判する傾向を強めたことから党内の結集力および政党への支持も急激に低下した。そして連立パートナーのSamobronaの代表であるレップル (Andrzej Lepper) の汚職問題を契機とする連立政権内の対立から2007年9月に議会が解散されると、その後の選挙ではLPRは下院で得票率1.30%しか獲得できず、上院とあわせて国会での議席を喪失した。

2-6**MN (Mniejszość Niemiecka): ドイツ少数民族(ドイツ系政党の説明を含む)**

〈<http://www.mniejszoscniemiecka.pl/>〉

選挙のためにドイツ系民族の組織が形成されたのは、1990年にオポレ県で実施された上院の補欠選挙の時であるとされる。その後1991年の選挙の際には2つのドイツ系政党が候補を立てたが、その中でオポレを本拠とする「ドイツ少数民族(MN)」が、1選挙区で5,000名以上の署名を集めることで全国リストに登録されるという当時の条件を満たし、番号20番として全国登録されたこともあり、得票率1.18%で7議席を獲得した。このときは上院でも1議席を獲得している(なおこれ以降の選挙で、ドイツ系の政党は上院での議席は獲得していない)。1993年以降は5%(政党連合は7%)の阻止条項が導入された代わりに少数民族条項も導入され、MNは少数民族政党として阻止条項の適用を除外されることとなった。1993年と97年の選挙は、それぞれ母体となっている社会団体の名称(シロンスク・オポレのドイツ人社会・文化協会(MNŚO: Towarzystwo Społeczno-Kulturalne Niemców na Śląsku Opolskim)もしくはドイツ社会・文化協会(TSKN: Towarzystwo Społeczno-Kulturalne Niemców)の名称で候補を立て、93年はMNŚOが3議席、TSKNが1議席を獲得、97年はMNŚOが2議席を獲得した。2001年以降はMNの名称で選挙に候補を立て、2001年と2005年に2議席、2007年に1議席を獲得している。ドイツ系住民の政治的・法的地位確立やシロンスクの伝統および環境の保持、近隣地域との交流などを選挙プログラムに掲げている。

2-7**PD (Partia Demokratyczna - demokraci.pl): 民主党(前身の諸政党を含む)**

〈<http://www.demokraci.pl/>〉

直接の源流となるのは、1990年の大統領選挙においてマゾヴィエツキ(Tadeusz Mazowiecki)を支援したグループにより、1990年12月2日に設立されたリベラル系の政党である民主連合(UD: Unia Demokratyczna)である。UDは1991年の選挙において下院で得票率12.32%、62議席を獲得して議会第1党となり、1993年の選挙でも得票率10.59%、74議席を獲得して第3党となっている。その後1994年4月23日、民主連合はよりリベラルな経済政策を追求していた自由民主会議(KLD: Kongres Liberalno-Demokratyczny)と合併し自由連合(UW: Unia Wolności)を結成し、旧体制系の勢力に対抗して広く中道勢力を結集することを追求した。その後UWは、1997年には得票率13.37%で60議席を獲得し、第1党となったAWSとブゼック(Jerzy Buzek)を首班とする連立政権を形成するも、ワルシャワ市議会における両党の対立を契機として両者の関係は悪化し、2000年6月にUWは連立を離脱。だがその後2001年選挙の際には、旧KLD系のメンバーの大半がUWを離脱し、新たに形成されたPOに移行すると、POとリベラル系の支持層が重複するUWへの支持は低迷、結局得票率3.10%で、はじめて下院での議席を失うこととなる。2004年の欧州議会選挙では得票率7.33%でかろうじて4議席を獲得したものの、その後も支持率の回復傾向は見られず、2005年選挙での議席獲得は危ぶまれていた。そこからUWは2005年2月27日、マゾヴィエツキやハウスナー(Jerzy Hausner)、あるいはフラシニウク(Władysław Frasyniuk)らを中心とする新しいリーダーにより、公平さを重視するリベラル(「左派リベラル」とも称される)路線を追求する新しい政党である民主党(PD)へと組織を転換させる。だがこの路線は十分に有権者の支持を集めるところとならず、得票率は2.45%にとどまった。その後2006年の統一地方選挙の際、PDはSLDとの長年の対立を克服し、SLD、UP、SDPiと合同で選挙連合「左派と民主主義(LiD: Lewica i Demokraci)」を設立、2007年選挙でもこの選挙連合で選挙に参加した。だが現在の

ポーランドにおいては左派の地盤沈下が著しいこともあり、この選挙連合でかろうじて得票率13.15%、53議席を獲得するにとどまった(上院では1議席も獲得できず)。しかも選挙後はSLDとの対立が再燃し、結局統一議員団は解散。現在はPDは、下院で3議席を有するのみとなっている。

2-8

PiS (Prawo i Sprawiedliwość): 法と正義 (前身のPC: Porozumienie Centrumを含む)
(<http://www.pis.org.pl/>)

源流となるのは、ワウエンサを支持するグループが結集して、レフ・カチンスキ(L. A. Kaczyński)を代表として結成した中央同盟(PC)である(1990年5月12日結成、政党登録は91年3月)。指向としては中道右派、キリスト教民主主義であるが、旧共産党系、およびリベラル系の双方に反対する反エリート的な傾向が強いとされる。1991年選挙では選挙連合「市民中央同盟(POC: Porozumienie Obywatelskie Centrum)」を結成して候補を立て8.71%、44議席を獲得するものの(上院では9議席を獲得)、93年には4.42%の得票で、阻止条項の5%をわずかに超えられずに議席を失う。その後1997年4月13日にはPCはAWSに参加、1997年選挙はAWSの構成メンバーとして候補を立てて14議席を獲得するも、それ以降のAWS主流派との対立もあり、1999年11月にはAWSから離脱した。その後PCの主要メンバーであるレフ・カチンスキとドルン(Ludwik Dorn)は2001年初頭から、2001年の選挙に向けて新しい組織の形成を進め、最終的に2001年4月13日、「法と正義(PiS)」が政党として登録されるに至る。イデオロギー的にはキリスト教・ナショナリストだが、政党プログラムではその点は強調せず、むしろ「国家指向」政党であること、国家の役割を強化し秩序を回復することを強く主張している。2001年選挙では下院で得票率9.50%、44議席を獲得した。その後2005年選挙では、「全ての人に公正な第4共和国」(共産主義解体後の「第3共和制」が、格差や混乱を招いたことを批判し、国家を強化し腐敗の根絶、および浄化の促進を行うことで社会秩序を回復することを主張したスローガン。左派系のみでなく、リベラル系のPOやPDとも対抗軸を打ち出している)というスローガンの元、テレビのスポットコマーシャルやインターネットを利用した宣伝活動を行い、また候補者の個人的魅力を利用することで支持を拡大、下院で得票率26.99%、155議席、上院で49議席を獲得し第1党となる。そしてこのときは、当初はLPRおよびSamoobronaの支持の元、マルチンキエヴィッツ(Kazimierz Marcinkiewicz)を首班とする保守連立政権を組閣する。また議会選の直後に行われた大統領選で、ヤン・カチンスキはPOのトゥスク(Donald Tusk)を決選投票で破り大統領に当選、その結果PiSが大統領と首相の両方を握ることになる(後2006年7月に首相はヤロスワフ・カチンスキ(Jarosław Kaczyński)<ヤン・カチンスキ大統領の双子の兄>に交替し、ここで双子の兄弟が大統領と首相に就任することになる)。その後2006年5月からはPiSとLPRおよびSamoobronaの正式な連立政権が発足するが、後に連立パートナーのSamoobronaの代表であるレッペル(Andrzej Lepper)の汚職問題を契機とする連立政権内の対立から、2007年8月にはPiSはSamoobronaとLPRに連立解消を宣言、9月にはSLDが提案した議会解散決議にPiSが賛成票を投じたことで、議会が解散される。PiSは2007年選挙では、得票率32.11%、166議席と結党以来最大の議席を獲得したものの、POが200議席以上を議会で獲得したことで、このときは結局POとPSLの連立内閣が成立。PiSは下野することとなり、その結果下院と大統領の間で「コアビタシオン」状態が現れることとなった。

2-9**PO (PORP: Platforma Obywatelska <Rzeczypospolitej Polskiej>):
(ポーランド共和国)市民プラットフォーム <<http://www.platforma.org/>>**

2000年の大統領選挙の際に、17.3%の得票を集めて2位となったオレホフスキ (Andrzej Marian Olechowski) を支援したグループを基盤として、オレホフスキとトゥスク (Donald Tusk)、そしてプワジンスキ (Maciej Płażyński) の3人により、2001年1月11日に結成された政党(政党登録は2002年3月5日)。ここにはUWから旧KLD系を中心に多数の参加があったほか、AWS内の保守キリスト教系の組織であった保守人民党 (SKL: Stronnictwo Konserwatywno-Ludowe) と提携し(後にSKLの主要メンバーはPOに合流)、中道保守からリベラルの広範な支持獲得を目指す政党となる。2001年選挙で下院で得票率12.68%、65議席を獲得して第2党となると、UWに代わる新たなリベラル勢力として議会に定着し、その後2005年には下院で得票率24.14%、133議席を獲得(上院で34議席)、そして期間前解散により実施された2007年選挙では得票率41.51%、209議席を獲得して第1党となり(上院は60議席)、代表のトゥスクを首班としてPSLと連立政権を成立させた。政党プログラムのには保守とリベラルという両方の方向性を有しているが、近年はリベラル指向をより強めている。

2-10**PSL (Polskie Stronnictwo Ludowe): ポーランド農民党**

ポーランドにおいて、1991年の選挙から名称および組織形態をまったく変更せずに選挙で議席を獲得し続けている唯一の政党であり、また左右のいずれの政党とも中央レベルでの連立を組むことが可能な唯一の政党でもある。社会主義期の体制内政党であった統一農民党 (ZSL Zjednoczone Stronnictwo Ludowe) が1989年11月26日に活動停止を決議した後、そこに集まった代議員により組織されたポーランド農民党「再生」(PSL “Odrodzenie”) と、1988年にボンク (Henryk Bąk) が別に設立したポーランド農民党 (PSL) とが、1990年5月5日に合同して設立した、農民を主たる支持基盤とする政党である(新しい法律による政党登録は1998年1月1日)。新農村主義やカトリック社会原理に依拠する中道政党で、経済面では国家がある程度組織的に経済に介入する社会的市場経済を主張し、社会的な生存権を重視、また地方分権とEU統合を重視している。1991年以来全ての選挙において(2007年選挙での上院を除いて)議席を獲得し、うち1993年から1997年はSLDと、2001年から2003年まではSLD及びUPとの左派・中道連立政権に参加(このうち1993年10月から95年3月までは、党首のパブラク (Waldemmar Pawlak) が首相を務める)、2007年以降現在までは、POとの右派・中道連立政権に参加している。また1998年の統一地方選挙の際には、UPなどと選挙連合「社会同盟(Przymierze Społeczne)」を形成して、選挙に参加したこともある。

2-11**ROP (Ruch Odbudowy Polski): ポーランド再生運動**

1995年の大統領選挙の際に結成された、オルシェフスキ (Jan Olszewski) 候補の選挙委員会に参加した諸政党を母体として、大統領選挙の第1回投票でオルシェフスキが落選した後、に政党として登録を行った(1995年11月18日)。中道右派の独立系政党で、「カトリック社会科学」を基盤として政治を変革することを目的として掲げていた。国家の再生を目指し、そこから政府における浄化政策の実施を強く主張する他、経済においても国家が必要な場合には

介入する自由市場経済を路線を提示していた。外交ではNATO加盟は支持するがEUには国家主権の保持とポーランド経済の保護を求めるといふ、他のポーランド右派と同様の路線をとっていた。1997年選挙の際は「連帯」側からはAWSの重要な参加メンバーとされていたが、ROP側は「連帯後継政党の広範な協力」を主張するAWSの路線を否定し、1997年選挙は単独で参加。下院で5.56%の得票を得て6議席を獲得、上院でも5議席を獲得した。だがその後は党内の対立から離反が相次ぎ、党の影響力は低下。2001年選挙に際しては、当初はAWSとの選挙連合が模索されたが結局協力は成立せず、オルシェフスキ他主要メンバーはLPRのリストから出馬することとなった。その後は政党としては存続しているものの選挙に自らの候補を立てることはなく、ROPのメンバーは右派系のいくつかの政党に別れた状態となっている。

2-12

Samoobrona Rzeczypospolitej Polskiej : ポーランド共和国自衛

(<http://www.samoobrona.org.pl/>)

起源はレッペル (Andrzej Lepper) が主導していた農業労働組合「自衛」で、1992年6月12日に政党としての登録を行った(なお現在の「ポーランド共和国・自衛」に改称したのは2000年1月17日)。当初は農民の利益保護を主張していたが、その後移行による敗者の救済を主たるスローガンとして反エスタブリッシュメントでポピュリストティックな政府批判を強め、また道路封鎖などの実力行使を実施したりしたことで、一時は国家保護局 (Urząd Ochrony Państwa) の監視対象ともなっていた。1993年及び1997年の選挙ではほとんど支持を獲得できなかったが、2001年選挙では失業者や年金者に向けたアピールにより農村以外でも都市の労働者や失業者、あるいは高齢者にも支持を広げ、得票率10.23%ではじめて53議席を獲得、議会第3党に躍進する。この時期にはSLD-UPとPSLの連立が解消した後に、少数内閣となったSLD-UPとの実質的な協力関係を形成し、公式には反対しているEU加盟やイラク派兵についても議会では反対を行わなかった。その後2005年の選挙で下院で得票率11.41%、56議席を獲得すると、このときは当初はLPRとともにPiSの少数内閣に対する閣外支持を行い、のち2006年5月からは3党による右派連立政権に参加、党首のレッペルも副首相兼農業・地域開発相に就任する。だが連立政権内ではPiSとSamoobronaはしばしば対立し、最終的にレッペルの汚職問題を契機として2007年8月に最終的に連立は解消される。その後議会が解散され選挙が行われるが、レッペルの汚職やセクシャル・ハラスメントなどの問題により支持率を大幅に低下させたSamoobronaは1.53%の得票にとどまり、議会での議席を失うこととなる。

2-13

SLD (Sojusz Lewicy Demokratycznej): 民主左派同盟

(SDPI (Socjaldemokracja Polska)を含む) (<http://www.sld.org.pl/>)

当初は、社会主義期の支配政党であった統一労働者党 (PZPR) が、1990年1月28日の第11回党大会において解党と同時に新党の結成を行って設立したポーランド共和国社会民主主義 (SdRP: Socjaldemokracja Rzeczypospolitej Polskiej) を軸に、他の左派系の政党や青年組織、社会団体が参加して1991年7月9日に形成された選挙連合である。議会制民主主義と市場経済を基盤としつつ社会政策、特に弱者対策を主張し、1991年選挙では得票率11.99%、60議席を獲得する。その後1993年の選挙では、右派・保守系の分裂に助けられる形で得票率20.41%で171議席を獲得し議会第1党となり、PSLと連立政権を形成する。だが右派・保守系

がAWSに終結した1997年選挙では、得票率を27.13%に伸ばしながらも獲得議席は164にとどまり、SLDは下野することとなる。その後1997年の憲法改正に伴い社会団体が選挙に参加できなくなったことから、SLDは連合体から単一の政党へとすることになり、1999年4月15日に参加29組織が新党「民主左派同盟」を結成する署名を行い、政党への移管を果たす(政党としての登録は1999年4月26日)。この際にSLDは社会主義体制を全体主義的、非民主主義的なものとして批判し、社会民主主義路線を採用することを明確にする。その後1999年4月30日には政党として「ポーランド左派宣言」に署名し、これを契機にUPとの連携を強化する路線をとる。そして2000年12月には、SLDとUPを軸とする選挙連合を形成して2001年選挙に参加することが決定され、このSLD-UPが得票率41.04%、216議席を獲得して第1党となる。ここではSLD-UPはPSLと当初連立政権を形成するが、社会・経済政策における各種の対立から、2003年3月にはPSLは連立から離脱、その後は実質的にSamoobronaの閣外協力を得る形で、議会運営を行うことになる。さらにこの時期のSLD-UP政権はEU加盟こそ実現したものの、2002年12月末に明るみに出た「リヴィン・ゲート」事件を契機とする政界のスキャンダルはSLDの支持率を大幅に低下させたうえに、2004年3月には指導部の腐敗を批判するグループがポーランド社会民主主義(SDPI)を設立、32名の下院議員と5名の上院議員が離反したことで、左派の統一グループとしてのSLDの影響力も大きく低下した。この結果2005年選挙では、SLD(UPはこのとき、SLDのリストに参加した)は得票率11.31%、55議席の獲得にとどまり、下院第4党の地位に転落する(なおSDP1は下馬評は高かったものの、得票率は3.89%にとどまり、下院での議席獲得はならなかった)。その後2006年の統一地方選挙の際、SLDはPDとの長年の対立を克服し、PD、UP、SDPIと合同で選挙連合「左派と民主主義(LiD: Lewica i Demokraci)」を設立、2007年選挙でもこの選挙連合で選挙に参加した。だが現在のポーランドにおいては左派の地盤沈下が著しいこともあり、この選挙連合でも得票率13.15%、53議席を獲得するにとどまった(上院では1議席も獲得できず)。しかも選挙後はPDとの対立が再燃し、結局統一議員団は解散。PDとSDP1は議員団を離脱し、現在は左派(Lewyca)という議会会派で、SLDとUPで42議席を有するにとどまっている。

2-14

UP (**Unia Pracy**): 労働連合 <<http://www.uniapracy.org.pl/>>

「連帯」系の中で左派的なグループの連帯労働協定(Porozumienie Solidarności Pracy)と民主社会運動(Ruch Demokratyczno-Społeczny)、および統一労働者党(PZPR)から分離したポーランド社会民主主義連合(Polska Unia Socjaldemokratyczna)を主体として1992年6月7日に形成された、独立系の左派政党である。西欧型の社会民主主義・左派政党をめざし、経済における国家の責任や社会における公正を重視している。1993年の選挙で下院で得票率7.28%、41議席を獲得し、このときはSLDおよびPSLとの連立交渉にも参加したが、結果的に閣外協力にとどまる。だが1997年の議会選挙で得票率4.74%で議席を喪失した後は、UPは他の政党との連携を追求する戦略に転換。1998年の統一地方選挙の際は、PSLなどと選挙連合「社会同盟(Przymierze Społeczne)」に参加したが、その後はSLDを含む左派政党との提携を模索、1999年4月30日にはSLDやKPEiRを含む左派政党が「ポーランド左派宣言」に署名し、全体での協力を推進することとなる。その結果として2001年の選挙では、この宣言に参加した政党を軸に選挙連合SLD-UPが組織され、これが得票率41.04%、216議席を獲得して議会第1党となる。このときは当初SLD-UPとPSLの連立が形成されたが、社会・経済

問題をめぐる各種の対立からPSLは2003年3月に連立を離脱、以後はSamoobronaの非公式な閣外協力を得ながら政権を維持することとなる。その後2005年選挙においては、SLDの統一リストに「緑の党(Zielona)」などと参加し、また2007年選挙ではSLD、SDP 1、PDなどと「左派と民主主義(LiD: Lewica i Demokraci)」リストに参加して議席を獲得するが、その後LiDの解体に伴い、UPはSLDと議会内会派「左派(Lewica)」に属している。

2-15

ZChN (Zjednoczenie Chrześcijańsko-Narodowe): キリスト教国民連盟

1989年11月28日に、20以上の「連帯」系の公認および非公認抵抗組織、および独立系組織の参加の下、結成大会が実施された(登録は1990年9月)。右派・保守系の政党で、キリスト教ナショナル、原理主義の傾向を有しているが、内部には多様な潮流が存在している。キリスト教系では有力な政党であるが単独で選挙に参加したことはなく、1991年選挙では選挙連合「カトリック選挙行動(WAK: Wyborcza Akcja Katolicka)」に参加して、これが得票率87.4%で49議席を獲得する。93年選挙では選挙連合「祖国(Ojczyzna)」に参加するが、このときは6.37%の得票を得るものの、選挙連合として必要な7%の票を獲得できずに、議会での議席を失うこととなる。そして1997年選挙ではAWSに参加し、その枠の中で25議席を獲得したが、2001年はAWS Pに参加し再び議席を失う。その後はメンバーが他の政党、特にPiSとLPRに多く移行したため影響力を喪失し、最終的に2007年に活動を停止する。

注記

政党の概要に関しては、以下の文献を参照している。

M. Jeziński (ed.), *Wybory parlamentarne 2005: analiza marketingowa*. Toruń, 2006,

K.Kowalczyk and J. Sielski (eds.), *Polskie partie i ugrupowania parlamentarne*. Wrocław, 2000.

K.A.Paszkwicz(ed.), *Partie i koalicje polityczne III Rzeczypospolitej*. Toruń, 2004.

3 第3共和国の歴代大統領

1989年12月31日～1990年12月21日

- ヴォイチェフ・ヴィトルド・ヤルゼルスキ Wojciech Witold JARUZELSKI

(上下両院の議員により構成される国民評議会<Zgromadzenie Narodowe>により選出)

1990年12月22日～1995年12月22日

- レフ・ヴァウエンサ Lech WAŁĘSA

1995年12月23日～2005年12月23日

- アレクサンデル・クファシニエフスキ Aleksander KWAŚNIEWSKI

2005年12月23日～

- レフ・カチンスキ Lech KACZYŃSKI

4 1991年の選挙後の歴代内閣

1991年12月23日～1992年7月5日

- ヤン・オルシェフスキ Jan OLSZEWSKI内閣(POC, ZChN, PL, PChDなどの連立)

1992年7月5日～1992年7月10日

- ヴァルデマール・パヴラク Waldemar PAWLAK(議会で2回連続で信任投票が通過せず組閣できず)

1992年7月11日～1993年10月25日

- ハンナ・スホツカ Hanna SUCHOCKA内閣(UD, ZChN, KLD, PL, PChDなどの連立)

1993年10月25日～1995年3月6日

- ヴァルデマール・パヴラク Waldemar PAWLAK内閣(SLDとPSLの連立)

1995年3月7日～1996年2月7日

- ユーゼフ・オレクシ Józef OLEKSY内閣(SLDとPSLの連立)

1996年2月7日～1997年10月31日

- ヴウォジミエシュ・チモシェヴィッツ Włodzimierz CIMOSZEWICZ内閣(SLDとPSLの連立)

1997年10月31日～2001年10月19日

- イェジ・ブゼック Jerzy BUZEK内閣(当初AWSとUWの連立、2000年6月以降はAWS単独内閣)

2001年10月19日～2004年5月2日

- レシエク・ミルレル Leszek MILLER内閣(当初SLD, PSL, UPの連立、2003年3月からはSLDとUPの連立)

2004年5月2日～2004年6月11日

- マレク・ベルカ Marek BELKA内閣(SLDとPSLの連立)

2004年6月11日～2005年10月31日

- 第2次マレク・ベルカ Marek BELKA内閣(SLDとPSLの連立)

2005年10月31日～2006年7月14日

- カジミエシュ・マルチンキエヴィッツ Kazimierz MARCINKIEWICZ内閣
(当初はPiS単独内閣、2006年5月からPiS, Samoobrona, LPRの連立)

2006年7月14日～2007年11月16日

- ヤロスワフ・カチンスキ Jarosław KACZYŃSKI内閣(PiS, Samoobrona, LPRの連立)

2007年11月16日～

- ドナルド・トゥスク Donald TUSK内閣(POとPSLの連立)

5 資料

ポーランド下院選挙結果

1991年選挙
(10月27日)

登録有権者	27,517,280
投票用紙発行数	
投票数	11,887,949
投票率	43.20
有効投票数	11,218,602
有効投票率	94.37

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率*
UD	1,382,051	12.32	62	13.48
SLD	1,344,820	11.99	60	13.04
WAK	980,304	8.74	49	10.65
POC	977,344	8.71	44	9.56
PSL	972,952	8.67	48	10.43
KPN	841,738	7.50	46	10.00
KLD	839,978	7.49	37	8.04
PL	613,626	5.47	28	6.09
Solidarność	566,553	5.05	27	5.87
PPPP	367,106	3.27	16	3.48
DC	265,179	2.36	5	1.09
UPR	253,024	2.26	3	0.65
SP	230,975	2.06	4	0.87
SD	159,017	1.42	1	0.22
MN	132,059	1.18	7	1.52
PCD	125,314	1.12	4	0.87
PPEZ	91,726	0.82	0	0.00
ZP	89,034	0.79	0	0.00
PW	78,704	0.70	0	0.00
SN	74,082	0.66	0	0.00
PPE-PPZ	71,043	0.63	0	0.00
RDS	52,735	0.47	1	0.22
Partia X	51,656	0.46	3	0.65
LPW'P'	42,032	0.37	1	0.22
RAS	40,061	0.36	2	0.43
BLC	36,665	0.33	0	0.00
RC'P'	30,092	0.27	0	0.00
WBM	29,428	0.26	0	0.00
KKSP	27,586	0.25	1	0.22
ZP	26,744	0.24	1	0.22
PZZ	26,053	0.23	4	0.87
KP	23,506	0.21	0	0.00
WiP	23,188	0.21	1	0.22
ZZP	22,444	0.20	0	0.00
JL	18,902	0.17	1	0.22
RMP	14,089	0.13	0	0.00
KWP	13,788	0.12	1	0.22
Solidarność 80	12,769	0.11	1	0.22
KRS	11,955	0.11	0	0.00
NSZZ-Solidarność 80	11,297	0.10	0	0.00
KSK	10,587	0.09	0	0.00
UWiL	9,704	0.09	1	0.22

1991 年選挙
(10月27日)

※前ページからのつづき

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率*
KP	9,019	0.08	0	0.00
BKW	8,446	0.08	0	0.00
PWN-PSN	8,379	0.07	0	0.00
ZZMiKWK	7,724	0.07	0	0.00
PV	6,108	0.05	0	0.00
RPW	6,081	0.05	0	0.00
PKL	5,939	0.05	0	0.00
NKW	5,604	0.05	0	0.00
SKPTZ	5,497	0.05	1	0.22
WKOT	5,472	0.05	0	0.00
L'PZM'	5,318	0.05	0	0.00
RFW	5,262	0.05	0	0.00
NMPP	5,142	0.05	0	0.00
WKS	5,000	0.04	0	0.00
NP	4,955	0.04	0	0.00
KWSLE	4,934	0.04	0	0.00
NP-Lb	4,711	0.04	0	0.00
OKWRLL-S	4,648	0.04	0	0.00
NER	4,501	0.04	0	0.00
KO	4,190	0.04	0	0.00
KWSG	4,073	0.04	0	0.00
POD'S'	4,003	0.04	0	0.00
KWNR	3,958	0.04	0	0.00
KWNSZZ'S80'	3,939	0.04	0	0.00
KWBLGWR	3,763	0.03	0	0.00
PER	3,759	0.03	0	0.00
KWSRK	3,611	0.03	0	0.00
BLN	3,491	0.03	0	0.00
KWZZOS	3,354	0.03	0	0.00
KWPKOWP	3,247	0.03	0	0.00
PPB	3,195	0.03	0	0.00
ROS	3,060	0.03	0	0.00
KW'SR'	3,007	0.03	0	0.00
KWBHO	2,910	0.03	0	0.00
KWWGK	2,902	0.03	0	0.00
SKOPDG	2,786	0.02	0	0.00
Kombatant	2,743	0.02	0	0.00
Ojcowizna	2,718	0.02	0	0.00
MNKW	2,684	0.02	0	0.00
RWPP	2,632	0.02	0	0.00
UW	2,578	0.02	0	0.00
RRKOZ	2,361	0.02	0	0.00
LNP	2,261	0.02	0	0.00
SKW	2,102	0.02	0	0.00
Rzemioslo	2,044	0.02	0	0.00
Stowarzyszenie 2000	1,934	0.02	0	0.00
PTP	1,928	0.02	0	0.00
PWSR	1,922	0.02	0	0.00
KWPST	1,914	0.02	0	0.00
PPD	1,892	0.02	0	0.00
KWRN-L	1,818	0.02	0	0.00
KWMUW	1,793	0.02	0	0.00
SSS	1,792	0.02	0	0.00
R'RZ'	1,658	0.01	0	0.00

1991 年選挙
(10月27日)
※前ページからのつづき

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率*
LNRZ	1,609	0.01	0	0.00
SWFW-Baszta	1,475	0.01	0	0.00
LD	1,464	0.01	0	0.00
NKWW91	1,345	0.01	0	0.00
LNRZ	1,329	0.01	0	0.00
KWS	1,119	0.01	0	0.00
GKN	1,075	0.01	0	0.00
KWLSKnb	1,048	0.01	0	0.00
KW'Dns'	1,000	0.01	0	0.00
KKWRNP	967	0.01	0	0.00
OKWPPN	831	0.01	0	0.00
KWPP	696	0.01	0	0.00
WIS	694	0.01	0	0.00
SSKW	671	0.01	0	0.00
KWPTC	608	0.01	0	0.00
合計	11,218,602		460	

1993 年選挙
(9月19日)

登録有権者	26,677,302
投票用紙発行数	
投票数	14,415,586
投票率	52.08
有効投票数	13,796,227
有効投票率	95.70

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率*
SLD	2,815,169	20.41	171	37.17
PLS	2,124,367	15.40	132	28.70
UD	1,460,957	10.59	74	16.09
UP	1,005,004	7.28	41	8.91
KPN	795,487	5.77	22	4.78
BBRW	746,653	5.41	16	3.48
Ojczyzna	878,445	6.37	0	0.00
Solidarność	676,334	4.90	0	0.00
PC	609,973	4.42	0	0.00
KLD	550,578	3.99	0	0.00
UPR	438,559	3.18	0	0.00
Partia X	377,480	2.74	0	0.00
Samoobrona	383,967	2.78	0	0.00
KdR (Koalicja dla Ryeczypospolitej)	371,923	2.70	0	0.00
PL (Polskie Stronnictwo Ludowe - Porozumienie Ludowe)	327,085	2.37	0	0.00
MNSO(Towarzystwo Społeczno - Kulturalne Mniejszości Niemieckiej na Śląsku Opolskim)	60,770	0.44	3	0.65
RAS(Ruch Autonomii Śląska)	26,357	0.19	0	0.00
TSKN(Towarzystwo Społeczno Kulturalne Niemców Województwa Katowickiego)	23,396	0.17	1	0.22
FSNT(Organizacja Technicznej Federacji Stowarzyszeń Naukowo - Technicznych)	22,717	0.16	0	0.00
Ojczyzna-PL(Ojczyzna - Polski List)	15,958	0.12	0	0.00
PWN-PSN(Polska Wspólnota Narodowa - Poskie Stronictwo Narodowe)	14,989	0.11	0	0.00
PPPP(Polska Partia Przyjaciół Piwa)	14,382	0.10	0	0.00
NWR'PP'(Niemiecka Wspólnota Roboczej "Pojednanie i Przyszłość)	13,776	0.10	0	0.00
ZBRP (Związek Białoruski w Rzeczypospolitej Polskiej)	10,164	0.07	0	0.00
TSKNWC (Towarzystwo Społeczno - Kulturalnego Ludności Pochodzenia Niemieckiego woj. Częstochowskiego)	10,068	0.07	0	0.00

1993年選挙
(9月19日)

※前ページからのつづき

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率*
OKN(Otwarta Kampania Niezależnych - Poza Układem)	6,918	0.05	0	0.00
PUP(Polska Unia Pracujących)	6,789	0.05	0	0.00
ZOSMN(Zarząd Olsztyńskiego Stowarzyszenia Mniejszości Niemieckiej)	2,444	0.02	0	0.00
RPP(Rzemieślnicza Partia Polski)	2,251	0.02	0	0.00
WAB(Wyborcza Akcja Bezrobotnych)	900	0.01	0	0.00
PPOK(Główna Polska Partia Odnowy Kraju)	663	0.00	0	0.00
NFP(Narodowy Front Polski)	565	0.00	0	0.00
NTOPT(Narodowe Towarzystwo Oświatowe w Piotrkowie Trybunalskim)	463	0.00	0	0.00
SD(Spółdzielczy Dom)	418	0.00	0	0.00
PPF(Polski Front Patriotycznego)	258	0.00	0	0.00
合計	13,796,227		460	

1997年選挙
(9月27日)

登録有権者	28,409,054
投票用紙発行数	
投票数	13,616,378
投票率	47.93
有効投票数	13,088,231
有効投票率	96.12

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率*
AWS	4,427,373	33.83	201	43.70
SLD	3,551,224	27.13	164	35.65
UW	1,749,518	13.37	60	13.04
PSL	956,184	7.31	27	5.87
ROP	727,072	5.56	6	1.30
UP	620,611	4.74	0	0.00
KPEiR	284,826	2.18	0	0.00
UPRz (Unia Prawicy Rzeczypospolitej)	266,317	2.03	0	0.00
KPEiR RP	212,826	1.63	0	0.00
BdP	178,395	1.36	0	0.00
TSKNZO (Towarzystwo Społeczno - Kulturalnego Niemców na Śląsku Opolskim)	51,027	0.39	2	0.43
TSKNWK (Towarzystwo Społeczno Kulturalnego Niemców Województwa Katowickiego)	16,724	0.13	0	0.00
SMnRP-P (Główne Stowarzyszenie Słowiańskiej Mniejszości Narodowej Rzeczypospolitej Polskiej - Prawosławni)	13,632	0.10	0	0.00
Samobrona	10,073	0.08	0	0.00
PWN-PSN (Polska Wspólnota Narodowe - Polskie Stronnictwo Narodowe)	8,590	0.07	0	0.00
MnN Cz (Zarząd Wojewódzki Towarzystwa Społeczno - Kulturalne Niemców Województwa Częstochowskiego)	6,206	0.05	0	0.00
PiP (Pojednanie i Przyszłość)	3,663	0.03	0	0.00
MnN Olsz (Zarząd Mniejszości Niemieckiej Województwa Olsztyńskiego)	1,729	0.01	0	0.00
NiB (Niezależna i Bezpartyjna)	924	0.01	0	0.00
SL-"PPS"(Sojusz Ludzi - Polska, Praca, Sprawiedliwość)	703	0.01	0	0.00
MnN Elbl (Związek Stowarzyszeń Mniejszości Niemieckiej Województwa Elbląskiego)	614	0.00	0	0.00
合計	13,088,231		150	

2001 年選挙
(9月23日)

登録有権者	29,364,445
投票用紙発行数	13,591,681
投票率	46.29
投票数	13,559,412
有効投票数	13,017,929
有効投票率	96.01

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率*
SLD-UP	5,342,519	41.04	216	46.96
PORP	1,651,099	12.68	65	14.13
Samoobrona	1,327,624	10.20	53	11.52
PiS	1,236,787	9.50	44	9.57
PSL	1,168,659	8.98	42	9.13
LPR	1,025,148	7.87	38	8.26
AWSP	729,207	5.60	0	0.00
UW	404,074	3.10	0	0.00
ARS (Alternatywa Ruch Społeczny)	54,266	0.42	0	0.00
MnN	47,230	0.36	2	0.43
PPS (Polska Partia Socjalistyczna)	13,459	0.10	0	0.00
NMnGŚI (Niemiecka Mniejszość Górnego Śląska)	8,024	0.06	0	0.00
PUG (Polska Unia Gospodarczej)	7,189	0.06	0	0.00
PWN (Polska Wspólnota Narodowa)	2,644	0.02	0	0.00
合計	13,017,929		460	

2005 年選挙
(9月25日)

登録有権者	30,229,031
投票用紙発行数	12,263,640
投票率	40.57
投票数	12,244,903
有効投票数	11,804,676
有効投票率	96.40

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率*
PiS	3,185,714	26.99	155	33.70
PORP	2,849,259	24.14	133	28.91
Samoobrona	1,347,355	11.41	56	12.17
SLD	1,335,257	11.31	55	11.96
LPR	940,762	7.97	34	7.39
PSL	821,656	6.96	25	5.43
SDPL	459,380	3.89	0	0.00
PD-demokracy.pl	289,276	2.45	0	0.00
Platforma Janusza Korwin-Mikke	185,885	1.57	0	0.00
RP (Ruch Patriotyczny)	124,038	1.05	0	0.00
PPP (Polska Partia Pracy)	91,266	0.77	0	0.00
MN	34,469	0.29	2	0.43
PPN (Polska Partia Narodowa)	34,127	0.29	0	0.00
Dom Ojczysty	32,863	0.28	0	0.00
Centrum	21,893	0.19	0	0.00
O.K.O.(Ogólnopolska Koalicja Obywatelska)	16,251	0.14	0	0.00
Inicjatywa RP	11,914	0.10	0	0.00
PKGiP (Polska Konfederacja - Godność i Praca)	8,353	0.07	0	0.00
NOP (Narodowe Odrodzenie Polski)	7,376	0.06	0	0.00
MNŚ (Mniejszość Niemieckiej Śląska)	5,581	0.05	0	0.00
SP (Stronnictwo Pracy)	1,019	0.01	0	0.00
Społeczni Ratownicy	982	0.01	0	0.00
合計	11,804,676		460	

2007年選挙
(10月21日)

登録有権者	30,615,471
投票用紙発行数	16,495,045
投票率	53.88
投票数	16,477,734
有効投票数	16,142,202
有効投票率	97.96

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率*
PORP	6,701,010	41.51	209	45.43
PiS	5,183,477	32.11	166	36.09
LiD	2,122,981	13.15	53	11.52
PSL	1,437,638	8.91	31	6.74
Samobrona	247,335	1.53	0	0.00
LPR	209,171	1.30	0	0.00
PPP (Polska Partia Pracy)	160,476	0.99	0	0.00
PK (Partia Kobiet)	45,121	0.28	0	0.00
MN	32,462	0.20	1	0.22
Samobrona Patriotyczna	2,531	0.02	0	0.00
合計	16,142,202		460	

ポーランド上院選挙結果

1991年選挙
(10月27日)

登録有権者	27,517,280
投票用紙発行数	
投票数	11,887,865
投票率	43.20
有効投票数	11,474,846
有効投票率	96.53

政党	議席数	議席率*
UD	21	21.00
NSZZ"S"	12	12.00
PSL	9	9.00
WAK(Wyborcza Akcja Katolicka)	9	9.00
POC(Porozumienie Obywatelskie Centrum)	9	9.00
PL(Porozumienie Ludowe)	7	7.00
KLD	6	6.00
KPN	4	4.00
SLD	4	4.00
PChD(Partia Chrześcijańskich Demokratów)	3	3.00
ChD(Chrześcijańska Demokracja)	1	1.00
MN	1	1.00
UWL(Unia Wielkopolan i Lubuszan)	1	1.00
諸派	13	13.00
合計	100	

1993年選挙
(9月19日)

登録有権者	26,677,302
投票用紙発行数	
投票数	14,408,367
投票率	52.08
有効投票数	13,958,535
有効投票率	97.07

政党	議席数	議席率*
SLD	37	37.00
PSL	36	36.00
NSZZ"S"	9	9.00
UD	4	4.00
BBWR	2	2.00
UP	2	2.00
KLD	1	1.00
諸派	9	9.00
合計	100	

1997年選挙
(9月27日)

登録有権者	28,409,054
投票用紙発行数	
投票数	13,614,101
投票率	47.92
有効投票数	13,317,952
有効投票率	97.82

政党	議席数	議席率*
AWS	51	51.00
SLD	28	28.00
UW	8	8.00
ROP	5	5.00
PSL	3	3.00
諸派	5	5.00
合計	100	

2001年選挙
(9月23日)

登録有権者	29,364,445
投票用紙発行数	13,590,426
投票率	46.27
投票数	13,551,502
有効投票数	13,072,323
有効投票率	96.46

政党	議席数	議席率*
SLD-UP	75	75.00
Blok Senat 2001*	15	15.00
PSL	4	4.00
Samoobrona	2	2.00
LPR	2	2.00
諸派	2	2.00
合計	100	

*Blok Senat 2001はAWSP, PiS, PORP, ROP, UWの合同候補リスト

2005年選挙
(9月25日)

登録有権者	30,229,031
投票用紙発行数	12,262,311
投票率	40.56
投票数	12,239,019
有効投票数	11,812,965
有効投票率	96.52

政党	議席数	議席率*
PiS	49	49.00
PORP	34	34.00
LPR	7	7.00
Samoobrona	3	3.00
PSL	2	2.00
諸派	5	5.00
合計	100	

2007年選挙
(10月21日)

登録有権者	30,615,471
投票用紙発行数	16,494,503
投票率	53.88
投票数	16,475,672
有効投票数	16,190,804
有効投票率	98.27

政党	議席数	議席率*
PORP	60	60.00
PiS	39	39.00
諸派	1	1.00
合計	100	

ポーランド大統領選挙結果

1990年選挙

●第1回投票(11月25日)

登録有権者	27,545,625
投票用紙発行数	
投票数	16,702,000
投票率*	60.63
有効投票数	16,442,474
有効投票率	

候補者名	有効投票数	得票率	所属
Lech Wałęsa	6,569,889	39.96	NSZZ"Solidarność"
Stanisław Tymiński	3,797,605	23.10	無所属
Tadeusz Mazowiecki	2,973,264	18.08	無所属
Włodzimierz Cimoszewicz	1,514,025	9.21	SdRP
Roman Bartoszcze	1,176,175	7.15	PSL
Leszek Robert Moczulski	411,516	2.50	KPN
合計	16,442,474		

●第2回投票(12月9日)

登録有権者	27,436,078
投票用紙発行数	
投票数	14,650,037
投票率*	53.40
有効投票数	14,305,794
有効投票率	

候補者名	有効投票数	得票率	所属
Lech Wałęsa	10,622,696	74.25	NSZZ"Solidarność"
Stanisław Tymiński	3,683,098	25.75	無所属
合計	14,305,794		

1995年選挙

●第1回投票(11月5日)

登録有権者	28,136,332
投票用紙発行数	
投票数	18,203,218
投票率*	64.70
有効投票数	17,872,350
有効投票率	

候補者名	有効投票数	得票率	所属
Aleksander Kwaśniewski	6,275,670	35.11	SLD
Lech Wałęsa	5,917,328	33.11	無所属
Jacek Jan Kuroń	1,646,946	9.22	UW
Jan Olszewski	1,225,453	6.86	RdR
Waldemar Pawlak	770,419	4.31	PSL
Tadeusz Stanisław Zieliński	631,432	3.53	UP
Hanna Gronkiewicz-Waltz	492,628	2.76	無所属
Janusz Ryszard Korwin-Mikke	428,969	2.40	UPR
Andrzej Lepper	235,797	1.32	Samobrona RP
Jan Pietrzak	201,033	1.12	
Tadeusz Koźłuk	27,259	0.15	
Kazimierz Wojciech Piotrowicz	12,591	0.07	
Leszek Bubel	6,825	0.04	
合計	17,872,350		

●第2回投票(11月19日)

登録有権者	28,062,409
投票用紙発行数	
投票数	19,146,496
投票率*	68.23
有効投票数	18,762,615
有効投票率	

候補者名	有効投票数	得票率	所属
Aleksander Kwaśniewski	9,704,439	51.72	SLD
Lech Wałęsa	9,058,176	48.28	無所属
合計	18,762,615		

2000年選挙

●第1回投票(10月5日)

登録有権者	29,122,304
投票用紙発行数	17,798,791
投票数	17,789,231
投票率*	61.08
有効投票数	17,598,919
有効投票率	

候補者名	有効投票数	得票率	所属
Aleksander Kwaśniewski	9,485,224	53.90	無所属 (SLD/UP 支持)
Andrzej Marian Olechowski	3,044,141	17.30	無所属
Marian Krzaklewski	2,739,621	15.57	AWS
Jarosław Kalinowski	1,047,949	5.95	PSL
Andrzej Lepper	537,570	3.05	Samobrona RP
Janusz Ryszard Korwin-Mikke	252,499	1.43	UPR
Lech Wałęsa	178,590	1.01	無所属
Jan Łopuszański	139,682	0.79	PP
Dariusz Maciej Grabowski	89,002	0.51	無所属
Piotr Ikonowicz	38,672	0.22	PPS
Tadeusz Adam Wilecki	28,805	0.16	SN
Bogdan Pawłowski	17,164	0.10	無所属
合計	17,598,919		

☆第1回投票でKwaśniewskiが過半数の得票を獲得したため、当選が確定

2005年選挙

●第1回投票(11月9日)

登録有権者	30,260,207
投票用紙発行数	15,051,157
投票率	49.74
投票数	15,046,350
有効投票数	14,946,689
有効投票率	

候補者名	有効投票数	得票率	所属
Franciszek Donald Tusk	5,429,666	36.33	PO
Lech Aleksander Kaczyński	4,947,927	33.10	PiS
Andrzej Zbigniew Lepper	2,259,094	15.11	Samobrona RP
Marek Stefan Borowski	1,544,642	10.33	SDPL
Jarosław Kalinowski	269,316	1.80	LPR
Janusz Ryszard Korwin-Mikke	214,116	1.43	UPR
Henryka Teodora Bochniarz	188,598	1.26	無所属
Liwiusz Marian Iłasz	31,691	0.21	無所属
Stanisław Tymiński	23,545	0.16	無所属
Leszek Henryk Bubel	18,828	0.13	PPN
Jan Pyszko	10,371	0.07	ONP-LP
Adam Andrzej Słomka	8,895	0.06	KPN-OP
合計	14,946,689		

●第2回投票(11月23日)

登録有権者	30,279,209
投票用紙発行数	15,439,684
投票率	50.99
投票数	15,435,020
有効投票数	15,279,787
有効投票率	

候補者名	有効投票数	得票率	所属
Lech Aleksander Kaczyński	8257468	54.04	PiS
Franciszek Donald Tusk	7022319	45.96	PO
合計	15279787		

ポーランド欧州議会選挙結果

第1回選挙
(2004年6月13日)

登録有権者	29,986,109
投票用紙発行数	6,265,062
投票数	6,258,550
投票率	20.87
有効投票数	6,091,531
有効投票率	97.33

政党(政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率*
PO	1,467,775	24.10	15	27.78
LPR	969,689	15.92	10	18.52
PiS	771,858	12.67	7	12.96
Samoobrona	656,782	10.78	6	11.11
SLD-UP	569,311	9.35	5	9.26
UW	446,549	7.33	4	7.41
PSL	386,340	6.34	4	7.41
SDPL	324,707	5.33	3	5.56
UPR	113,675	1.87	0	0.00
NKWW (Narodowy Komitet Wybory Woborców)	94,867	1.56	0	0.00
IdP (Inicjatywa dla Polski)	88,565	1.45	0	0.00
KPEiR-PLD	48,667	0.80	0	0.00
KROB (Konfederacja Ruch Obrony Bezrobotnych)	36,937	0.61	0	0.00
OKO (Ogólnopolski Komitet Obywatelski "OKO")	35,180	0.58	0	0.00
PPP (Polska Partia Pracy)	32,807	0.54	0	0.00
APP'R' (Antyklerykalna Partia Postępu "Racja")	18,068	0.30	0	0.00
WZ2004 (Zieloni 2004)	16,288	0.27	0	0.00
DPL (Demokratyczna Partia Lewicy)	5,513	0.09	0	0.00
RdP (Razem dla Przyszłości)	2,897	0.05	0	0.00
NOP (Narodowe Odrodzenie Polski)	2,546	0.04	0	0.00
PPN (Polska Partia Narodowa)	2,510	0.04	0	0.00
合計	6,091,531		54	

データの出典

選挙結果

1991年下院	Monitor Polski 1991 nr. 41, poz. 288
1991年上院	Monitor Polski 1991 nr. 41, poz. 287
1993年下院	Monitor Polski 1993 nr.50, poz. 470
1993年上院	Monitor Polski 1993 nr.50, poz. 471
1997年下院	Monitor Polski 1997 nr. 64, poz. 620
1997年上院	Monitor Polski 1997 nr. 64, po.z 621
2001年下院	Dziennik Ustaw 2001 nr. 109, poz. 1186
2001年上院	Dziennik Ustaw 2001 nr. 109, poz. 1187
2005年下院	Dziennik Ustaw 2005 nr.195, poz. 1626
2005年上院	Dziennik Ustaw 2005 nr.195, poz. 1627
2007年下院	Dziennik Ustaw 2007 nr.198, poz. 1438
2007年上院	Dziennik Ustaw 2007 nr.198, poz. 1439

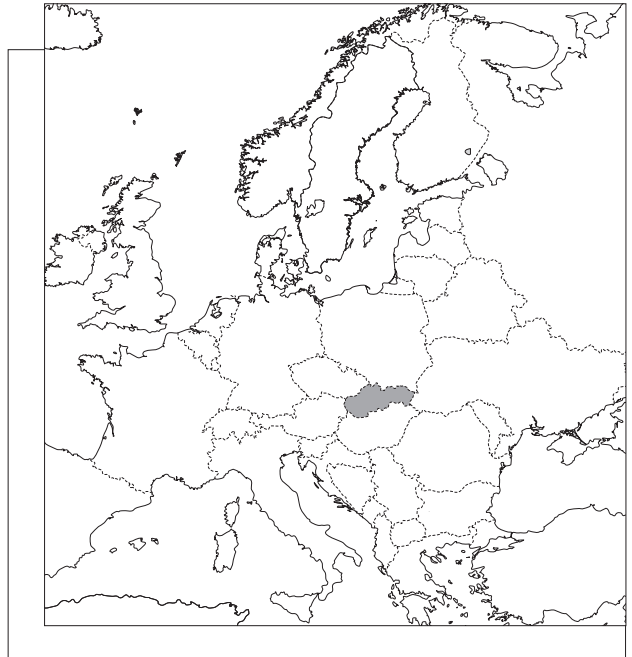
1991/93年選挙については、S. Gebethnera, pod red. *Wybory parlamentarne 1991 i 1993: a polska scena polityczna*. Warszawa 1995 も参照

1990年大統領第1回	Dziennik Ustaw 1990 nr. 83, poz. 483
1990年大統領第2回	Dziennik Ustaw 1990 nr. 85, poz. 499/500
1995年大統領第1回	Dziennik Ustaw 1995 nr.126, poz.604
1995年大統領第2回	Dziennik Ustaw 1995 nr.131, poz.636
2000年大統領	Dziennik Ustaw 2000 nr. 85, poz.952
2005年大統領第1回	Dziennik Ustaw 2005 nr.200, poz. 1647
2005年大統領第2回	Dziennik Ustaw 2005 nr.208, poz. 1739
2004年欧州議会	Dziennik Ustaw 2004 nr. 137, poz. 1460

政党概要(他にデータベース記載の政党ホームページを参照)

K.A.Paszkwicz(ed.) *Partie i koalicje polityczne III Rzeczypospolitej*, Torun, 2004

K.Kowalczyk and J. Sielski(eds.) *Polskie partie i ugrupowania parlamentarne*, Wrocław, 2000



スロヴァキア政党・選挙データ

1. 政治制度と選挙制度

- 1-1 議会制度と議会選挙
- 2-2 大統領選挙

2. 主要政党の概要

- 2-1 ANO
- 2-2 DS
- 2-3 DÚ
- 2-4 KDH, SKDH
- 2-5 KSS
- 2-6 HZDS, ĽS-HZDS, RSS, HZD
- 2-7 SDK
- 2-8 SDKÚ, SDKÚ-DS
- 2-9 SDĽ
- 2-10 SDSS
- 2-11 SMER, SMER-DS
- 2-12 ESWS, MKDH/MKDM, MOS/MPP, SMK/MKP
- 2-13 SNS, P SNS
- 2-14 SOP
- 2-15 SZS, SZ
- 2-16 VPN
- 2-17 ZRS

3. 1989年12月以降の歴代内閣

4. 資料

1 政治制度と選挙制度

1-1 議会制度と議会選挙

議会制度のあらまし

1992年までのチェコスロヴァキアの連邦議会は人口比によって議席が割り振られる人民院とチェコ及びスロヴァキアの両共和国に同数の議席を割り振る国民院の二院制であった。両院ともに150議席で、人民院でのスロヴァキア共和国の議席は1990年選挙では49議席、1992年選挙では51議席で、国民院では両共和国ともに75議席が割り振られていた。両院は対等で、重要法案については人民院での過半数の可決と国民院の両共和国部分それぞれでの過半数の可決が必要であり、憲法改正、憲法律(憲法と同党の効力を持つ法律)の制定、大統領の選出では人民院全体と国民院の両共和国部分のそれぞれで5分の3の賛成が必要であった。また、スロヴァキア共和国の議会としてスロヴァキア国民評議会(Slovenská národná rada150議席)がおかれていた。

1993年の独立後には、連邦時代のスロヴァキア国民評議会がスロヴァキア共和国国民評議会(Národná rada Slovenskej republiky)と改称され、一院制の議会(150議席)となった。

連邦時代も独立後も、選挙権は18歳以上、被選挙権は21歳以上で、選挙方法は各リスト内の候補者に順位が付されている拘束名簿式比例代表選挙であった。ただし、投票者はリスト内の候補者4名までを選んで印をつけることができ、これが一定数を上回るとその候補者はリストの上位に繰り上がる優先投票制度が用いられている。議席配分方式は、1990年の国民評議会選挙ではハレ方式が採用されたが、1990年および1992年の連邦議会選挙および1992年以降の国民評議会選挙はいずれもドループ式である。

1990年、1992年、1994年選挙

1990年、1992年の連邦議会選挙、1990年、1992年、1994年の国民評議会選挙ではいずれも4選挙区(ブラチスラヴァ、西スロヴァキア、中央スロヴァキア、東スロヴァキア)での比例代表選挙であった。1990年のスロヴァキア国民評議会選挙については、議席獲得に必要な得票が共和国で3%以上とされていたが、1990年、1992年の連邦議会選挙及び1992年以降の国民評議会選挙では、その閾値は5%以上となった。また1992年選挙と1994年選挙では、2ないし3政党からなる連立リストは7%、4政党以上からなる連立リストは10%以上の得票を必要とするという規程が加わった。

1998年、2002年、2006年

1998年選挙以降は全国1選挙区となった。また、1998年選挙では複数政党が連立リストを作成した場合の最低得票率は1政党あたり5%(つまり、2政党なら10%、3政党なら15%)とされたので、連立リストを作成する意味は失われてしまった。その結果、連立リスト作成を予定していたSDKやSMK/MKPなどは、連合を新党として登録するという対応を行った。その後、2006年選挙では、2ないし3政党の連合は7%以上、4政党以上の連合は10%以上の得票が必要という規程が復活した。

1-2 大統領選挙

1993年に発効したスロヴァキア憲法では、大統領は議会による間接選挙で選出されることになっており、連邦時代の制度を踏襲して、議会の全議席の5分の3の得票が必要とされていた。初代大統領のミハル・コヴァーチMichal Kováčはこの規定で選出された。しかし、コヴァーチが5年の任期を終えたとき、与野党の激しい対立の中、議会で5分の3を越える支持を集める候補者は得られず、大統領職は空席となり、その職務は憲法規定に従って首相と国民評議会議長が代行することになった。1998年選挙後の連立与党は議会で5分の3を越える多数を握っていたが、制度の安定性を重視し、憲法を改正して大統領の直接選挙制に移行した。選挙は二回投票制で、1回目の投票で過半数を得た候補がいなかった場合には、上位2名が2回目の選挙に進み、得票の多いものが選出される。

2 主要政党の概要

2-1 ANO(**Aliancia nového občana**): 新市民同盟

2001年に、テレビ局マルキーザ総局長兼共同所有者のパヴォル・ルスコPavol Ruskoを党首として設立。ルスコ個人の人気に依拠するポピュリスト型の経済リベラル政党として、2002年選挙で8.01%の得票で15議席を獲得。第二次ズリンダ連立政権に参加。2003年9月から2005年8月までルスコは副首相兼経済相。2006年選挙では議席を得られなかった。

2-2 DS (**Demokratická strana**): 民主党

1944年9月、スロヴァキア国民蜂起の時期に、反ファシズム運動に参加する非共産諸勢力によって設立。戦後は国民戦線政党としてスロヴァキア国民評議会に参加。1946年の選挙では共産党を押さえてスロヴァキアで第1党。1948年2月の共産党政権樹立後は活動を停止。その党員の一部が同年3月にスロヴァキア復興党SSO: Strana slovenskej obrodyを設立し、それがDSの後継政党とされた。その後もSSOは国民戦線政党として存続した。1989年12月10日のSSO臨時党大会でDSという党名に戻ることが決議され(登録は1990年1月1日)、「欧州的、キリスト教的、文化的、倫理的伝統にそった活動」を基礎とする中道右派政党として再出発をした。世俗的経済自由主義に立つ。1990年のスロヴァキア国民議会選挙は最低得票率が3%に設定されていたので、4.40%を得たDSは7議席獲得したが、連邦議会の最低得票率は5%だったので、そこでは議席を得られなかった。1992年選挙ではチェコの市民民主党Občanská demokratická strana (ODS)との提携で選挙に臨んだが議席獲得には届かなかった。1994年3月には、それまでのDS党員に、VPNのリベラル派が結成した市民民主連合Občianska demokratická únia (ODÚ)などのメンバーが参加して世俗的な自由主義政党として新しいDSが結成されたが、同年の議会選挙でも3.43%の得票にとどまり、議席獲得には至らなかった。1998年選挙に際してDSはDÚ、KDH、SDSS、SZSとともにSDKを結成して、反メチアル勢力連合に加わり、選挙後には連立与党に加わった。同党の

閣僚や議員の一部は2000のSDKÚ結成に参加した。さらに、2002年選挙では自由民主連合 Liberálnodemokratická únia と連立を組む予定であったが、投票日の直前に党執行部が選挙への参加の撤回と SDKÚへの投票を決めて話題になった。2006年1月に正式に SDKÚ と合同し(登録の抹消は2006年2月13日)、SDKÚは党名を SDKÚ-DS と変更した。

2-3

DÚ (Demokratická únia Slovenska): 民主連合

1993年から翌年にかけて HZDS から離脱したふたつの反メチアル・グループ、民主スロヴァキア同盟 Aliancia demokratov Slovenska と政治的現実主義オターナティヴ Alternatívny politického realizmu とによって1994年3月に結成された(登録は1994年3月18日)。この分派行動によって、メチアル与党は議会での多数を失い、同年3月にメチアル内閣は不信任決議で辞任した。メチアルにかわって DÚ のヨゼフ・モラウチーク Josef Moravčík が首相となり、1994年選挙では8.57%の得票で15議席を得た。1995年3月には SNS を離党したグループが結成した国民民主党 Národno-demokratická strana が合流。1998年選挙では SDK に参加して議席を確保したが、2000年8月に SDKÚ に吸収された(登録抹消は同年9月7日)。なお、この解党に反対するグループは自由民主連合 Liberálnodemokratická únia を結成したが、2002年選挙ではこのグループが DÚ を名乗り、DS との連合で議席獲得を目指したが、DS 指導部の態度変更でこの提携は選挙直前に崩壊した。

2-4

KDH (Kresťansko-demokratické hnutie): キリスト教民主運動 (<http://www.kdh.sk/>) **SKDH (Slovenské kresťanskodemokratické hnutie):** **スロヴァキアキリスト教民主運動**

その組織的活動の出発点は1989年11月のキリスト教民主主義を志向する市民組織の声明に始まる。正式の設立大会は1990年2月17日(登録は1990年2月23日)。1990年選挙で連邦議会両院とスロヴァキア国民評議会で議席を得て、連邦と共和国の連立政府に加わる。1991年4月から1992年6月までは党首のチャルノグルスキー Ján Čarnogurský がスロヴァキア政府首相を務めた。1991春から党内では共同国家の形態などについて論争が始まり、連邦制を支持する主流派に対して、国家連合を支持するナショナリズム傾向の強いグループが対立するようになり、1992年3月には後者が離脱してスロヴァキアキリスト教民主運動 Slovenské kresťanskodemokratické hnutie (SKDH) を設立した。しかし、KDH は1992年選挙でも連邦議会両院と国民評議会で議席を得ることができた。ただし、議会では与党となった HZDS に対抗して野党に位置することになる。他方 SKDH は議席には届かず、その後は政界から姿を消すことになる。スロヴァキア独立後の1994年3月からのモラウチーク連立政府には与党として参加するが、同年9月選挙をへて12月のメチアル連立政権の発足によって再度野党となる。1998年選挙では KDH の指導者のひとりであったズリンダ Mikuláš Dzurinda が選挙連立(後に政党として登録されることになる)の SDK のリーダー(後に党首)となり、KDH は SDK 設立で中心的な役割を果たした。2000年に SDKÚ が設立されると、KDH から SDK に参加していた閣僚や議員の多くが SDKÚ に移った。2002年選挙後の第二次ズリンダ政権でも KDH は連立与党に加わった。2006年選挙後に下野する。西欧的なキリスト教民主主義を志向し、欧州人民党 EPP に加盟しているが、世俗的なリベラル派が SDKÚ に移ってからは、

スロヴァキア人ナショナリズムとキリスト教的伝統保守主義の傾向が強まった。

2-5

KSS (Komunistická strana Slovenska): スロヴァキア共産党
〈<http://www.kss.sk/>〉

共産党時代のKSSはチェコスロヴァキア共産党Komunistická strana Československa (KSČ)の下部組織であったが、その主流派は体制転換後に社会民主主義を志向し、党名をスロヴァキア共産党=民主左翼党KSS-SDEに、ついでSDEに変更することになるが、この路線転換に承伏しない左派が1991年3月にスロヴァキア共産主義者同盟Zväz komunistov Slovenskaを結成し(登録は1991年3月19日、結党大会は1992年1月18日)、1992年選挙に候補者を立てたが議席は得られなかった。またほぼ同じ時期に別なグループが「スロヴァキア共産党91」Komunistická strana Slovenska-91を結成していた(登録は1991年3月6日)。この両グループが1992年8月に合同してKSSを名乗った(登録は9月8日)。この党は、1994年、1998年選挙では議席を得られなかったが、2002年選挙では6.33%の得票で11議席を得た。2006年選挙では3.88%の得票にとどまり議席を失った。

2-6

HZDS (Hnutie za demokratické Slovensko): 民主スロヴァキア運動
ĽS-HZDS (Ľudová strana - Hnutie za demokratické Slovensko):
人民党=民主スロヴァキア運動 〈<http://www.hzds.sk/>〉

RSS (Roľnícka strana Slovenska): スロヴァキア農民党

HZD (Hnutie za demokraciu): 民主運動

1991年3月にVPN内プラットフォームとしてヴラジミール・メチアルVladimír Mečiarを中心とするグループ(「民主スロヴァキアのために」Za Demokratiké Slovensko)が形成され、それが後にVPNから分離してHZDSを設立した(登録は1991年5月3日、設立党大会は6月15日Banská Bystrica)。1992年のスロヴァキア国民評議会選挙では37.26%の票を得て、150議席中74議席を獲得して第1党となった。HZDSは連邦問題については、連邦を国家連合に改組することによって、共和国の自立性を高めることを求め、直ちに連邦解体を唱えていたわけではなかった。選挙後に、党首のメチアルがスロヴァキア政府首相となり、チェコの首相となった市民民主党的のクラウスVáclav Klausと連邦問題で協議を行い、結局は妥協の道を断念して、連邦解体で合意することになった。その結果、1993年にスロヴァキアはメチアル政権のもとで主権国家として独立した。メチアルはSNSなどと提携しながら政権運営を行ったが、1994年にメチアルの強権的な政権運営に反対する同党内のグループが離党し、後にこれらのグループはDÚを結成する。この離反によってHZDSは議会内の多数派を維持できなくなり、1994年3月に議会で内閣不信任案が可決され、HZDSはひとたび野に下った。1994年9～10月選挙でHZDSはスロヴァキア農民党Roľnícka strana Slovenskaとの連立リストにより34.97%の得票で61議席を獲得し、第1党となった。

選挙後に、HZDSはナショナル派のSNSと急進左派のZRSと連立政権をつくった。この政権は強権的な政権運営をさらに強め、その結果、EUはスロヴァキアの加盟申請に対して政治的な加盟基準を満たしていないとして、加盟交渉の開始を認めなかった。スロヴァキアの国際的な孤立化が深まる中で、1998年の選挙が実施されたが、この選挙でもHZDSは27.00%の得票で43議席を得て1党の地位を維持した。しかし、反メチアル諸党が合計で過半

数を制し、HZDSは野に下った。2002年選挙では19.50%の得票で36議席を得て、再度、第1党となるが、やはり連立パートナーを得られないまま野党にとどまった。

同党の綱領は、スロヴァキア人ナショナリズムとキリスト教的伝統保守などを折衷した内容で、その主張は明瞭さに欠け、党首メチアルのカリスマ的な人気とポピュリスト的な政策で支持を集めてきた。また長期政権の下で、国の地方機関などを通じた利益配分システムを作り上げ、それを権力基盤としてきた。第3次メチアル政権(1994~1998年)の権威主義的な政策は、メチアルやこの党の性格に由来する部分もあるが、連立相手であったSNSやZRSに引きずられたという側面もある。1998年に下野したあとは欧州のキリスト教民主主義の潮流に加わることを意識し、党綱領もそうした方向に内容を変え、2003年6月に党名をLS-HZDSと変更した(登録は7月9日)。しかし、党勢の長期低落傾向には歯止めがかからず、2006年選挙での得票は8.79%にとどまり、5位に甘んじるようになった。ただし、選挙後にはSMER-SD、SNSとの連立政権に加わり、与党に復帰した。

なお1994年選挙でHZDSと連立リストを形成したスロヴァキア農民党は、1997年にはスロヴァキア共和国農業者運動Hnutím poľnohospodárov SRと合同して新農業党Nová agrárna stranaとなったが、1998年6月に事実上HZDSに吸収された(解党登録は7月19日)。また同年の選挙にNASの分派が候補者を立てたが惨敗した。

2002年選挙の直前に党内での処遇に不満を持つイヴァン・ガシュパロヴィチIvan Gašparovičらが離党して民主運動Hnutie za demokraciuを設立し(登録は2002年7月12日)、選挙に候補者を立てたが、議席獲得には至らなかった。しかし、それに続く2004年の大統領選挙の第1次投票で党首のガシュパロヴィチはわずかの差でリベラル派のエドアルド・クカンEduard Kukan外相を押さえて2位となり、1次投票で首位に立っていたHZDSのメチアルとともに第2次投票に臨み、逆転で大統領に当選した。

2-7

SDK (**Slovenská demokratická koalícia**): スロヴァキア民主連立

1997年7月にDÚ、KDH、DS、SDSS、SZSの5党が選挙連立の形成で合意し、その名称がSDKとされた。しかし、当時のメチアル政権は事実上、選挙連立の形成を不可能にする選挙法の改正を行ったため、この5党はそれぞれの母体となる政党組織を残したまま、SDKという名称で新党を結成(登録は1998年3月10日)して選挙に臨んだ。党首にはKDH出身のミクラーシュ・ズリンダMikuláš Dzurindaが就任した。1998年選挙でSDKは26.33%、42議席を得て、HZDSについて第2党となった。選挙後にSDKはSDE、SOP、SMK/MKPとともに連立政府を形成し、第一次ズリンダ連立内閣が発足した。選挙後に構成政党が独自の動きをはじめたことに危機感を抱いたズリンダはSDKを母体とする新しい中道右派政党の形成を唱え、DÚ、KDH、DS出身の議員たちによってSDKÚが結成された。これによってSDKの存在は形骸化した。組織としては2002年選挙直前まで維持された。

2-8**SDKÚ (Slovenská demokratická a kresťanská únia):**
スロヴァキア民主・キリスト教連合**SDKÚ-DS (Slovenská demokratická a kresťanská únia - Demokratická strana):**
スロヴァキア民主キリスト教連合=民主党 <<http://www.sdkuonline.sk/>>

2000年に首相でSDKの代表でもあるズリンダの主導で、SDKを構成する中道右派諸党(DÚ、KDH、DS)の議員と閣僚の一部によって結成された(登録は2000年2月18日)。キリスト教民主主義に立つが、KDHよりも世俗的で経済自由主義的傾向が強い。2002年選挙では15.09%の得票で28議席を得て、HZDSにつぐ第2党の地位を確保し、他の中道右派3党(SMK-MKP、KDH、ANO)と第二次ズリンダ連立政権を形成した。2006年1月にはDSが同党に合流してSDKÚ-DSとなり(登録は2006年2月13日)、同年の選挙では前回選挙を上回る18.35%の得票で31を獲得したが、SMER-SD、SNS、ĽS-HZDSの連立政権が発足したため、野に下った。第二次ズリンダ政府時代には19%の均一税制を導入するなど、積極的な経済自由主義に立った。

2-9**SDL (Strana demokratickej ľavice): 民主左翼党****SDA (Sociálnodemokratická alternatíva): 社会民主オーターナティヴ**

共産党時代、チェコスロヴァキア共産党Komunistická strana Československa (KSČ)の下部組織としてKSSが存在していたが、それに対応するチェコ側の組織はなかった。体制変動後の1990年3月にチェコ共和国でチェコ・モラヴィア共産党Komunistická strana Čech a Moravy (KSČM)が設立され、KSSとともに連邦レベルでチェコ=スロヴァキア共産党Komunistická strana Česko-Slovenska (KSČ-S)を構成することになった。共産党は1990年選挙では連邦両院と両共和国の国民評議会に議席を得て、議会政治の場に踏みとどまることができた。しかし、共産主義を堅持しようとするチェコのKSČMと、社会民主主義への転換を志向するスロヴァキアのKSSとの路線対立が次第に顕著となる。1990年10月にKSSはKSS-SDLと党名を変更し、さらに1991年2月にはSDLと改称し、社会民主主義路線を明確にした。同年12月にはKSČ-Sの枠から離れて、独立した政党となった。1992年選挙では単独で連邦両院とスロヴァキア国民議会で議席を得たが、スロヴァキア独立後の1994年選挙では、SDLはSDSS、SZS、スロヴァキア共和国農業運動HPSRとともに共通の選択Spoločná voľbaという名称で連立リストを作成して選挙に臨んだが、10.42%の得票と18議席の獲得にとどまった。1998年選挙では再度、単独で選挙に臨み、選挙後の第一次ズリンダ政権の連立与党となった。しかし、中道右派諸党との連立に埋没し、また政権内での醜聞などが重なって、その支持は急落し、2002年選挙では議席を得られなかった。なお、1998年選挙以降、SDLの主流派からはずれていた元党首のヴァイスPeter Weissらは2002年選挙に際して新党の社会民主オーターナティヴSociálnodemokratická alternatívaを結成したが、この党も議席獲得には至らなかった。2004年12月にSDLとSDAはSDSSとともにSMERに合流し、SMER-SDとなった。

2-10

SDSS (Sociálnodemokratická strana na Slovensku) : スロヴァキア社会民主党
SDSS (Sociálnodemokratická strana Slovenska) : スロヴァキア社会民主党

前身のSDSSは1918年12月25日に設立され1948年に活動を停止している。1990年1月5日に活動を再開(登録は2月1日、再興大会は3月3日)。当初正式党名はSociálnodemokratická strana na Slovenskuであったが、1993年12月20日の登録でSociálnodemokratická strana Slovenskaと変更。1990年の選挙では議席を得ることはできなかった。1992年選挙ではアレキサンデル・ドゥプチェクAlexander Dubčekを選挙リーダーとし、連邦議会国民院のみで議席を得た。1994年選挙は共通の選択、1998年選挙はSDKに加わり議席を確保した。2004年12月にSMERに合流し、SMER-SDとなる。

2-11

SMER: スメル(方向)
SMER-SD (SMER-sociálna demokracia) : スメル(方向)=社会民主
 <<http://www.strana-smer.sk/>>

1998年選挙でSDEはズリンダ連立政権に参加するが、同党副党首の地位にあったロベルト・フィツォRobert Ficoは党主流派の方針と彼自身に対する処遇に不満があり、1999年12月に離党して自らを党首とするスメル(スロヴァキア語でSmerは「方向」を意味する)を立ち上げた(登録は1999年11月8日)。2002年選挙では13.46%の得票で25議席を得て、第3党の地位を得たが、連立には加わらなかった。当初は左右いずれの立場に立つのかを明らかにしなかったが、2002年選挙で左翼陣営が崩壊したこともあり、次第に左派志向を明示ようになる。2003年「スメル(第三の道)」SMER (tretia cesta) と党名を変更(6月3日登録)。2004年12月にSDE、SDA、SDSS、などの分裂していた社会民主主義系諸党を糾合してSMER-SDとなった(登録は2005年1月18日)。この合同のあと、SMER-SDは欧州社会党PESの加盟候補政党となった。2006年選挙で第1党になり、SNS、HZDSとともに連立政府をつくり、フィツォが首相に就任した。2006年10月にPESはSNSとの連立を理由にSMER-SDの加盟候補としての資格を停止したが、2008年2月に停止は解除された。

2-12

ESWS (Együttélés-Spolužitie-Wspólnota-Soužití) : 共存
MKDH/MKDM (Maďarské kresťansko-demokratické hnutie/

Magyar Kereszténydemokrata Mozgalom) : ハンガリー人キリスト教民主運動

MOS/MPP (Maďarská občanska strana/Magyar Polgári Párt) : ハンガリー人市民党

MK (Maďarská koalícia/Magyar Koalíció) : ハンガリー人連立

SMK/MKP(Strana maďarskej koalície-Magyar Koalíció Pártja) :
ハンガリー人連立党 <<http://www.mkp.sk/>>

1990年と1992年選挙では、ハンガリー系を中心とする民族少数派の連合体である「共存」ESWS: Együttélés-Spolužitie-Wspólnota-Soužití(ハンガリー語、スロヴァキア語、ポーランド語、チェコ語で「共存」という意味の語を並べた名称。登録は1990年3月1日)とハンガリー人の中道右派政党であるMKDH/MKDM(登録は1990年3月19日)の連合リストESWMKが8.66%の得票で14議席を得た。1992年選挙でも同じ連合が7.42%の得票で14議席を確保した。1994年選挙では、それまでは別行動をとっていたハンガリー人市民党MOS/MPPがこの連合に加わり、連合の名称はMKとなった。この選挙でMKは10.19%の得票で

17議席を得た。なお、MOS/MPPは設立当初はハンガリー人独立イニシアティブMaďarská nezávislá iniciatíva (MNI)という名称(1990年2月19日登録、設立大会は2月24～25日)で、1990年選挙ではVPNのリストで選挙に参加し議席を得た。1992年1月25～26日の大会で党名をMOS/MPPに変更した(登録は1992年2月12日)。1998年選挙に際して、選挙法の改正により事実上、複数政党の連立リストが作成できなくなったため、それまでMKに参加していた諸党はSMK/MKPという名称で新たな政党を結成し(登録1998年5月22日)、同年の選挙で9.13%の得票で15議席を得て、選挙後の連立与党に加わった。2002年選挙でも11.17%の得票で20を獲得し、選挙後も与党連立にとどまったが、2006年選挙では、11.68%の得票で20議席を維持したが、SMER-SD中心の連立政権がつくられたため、野に下った。スロヴァキアのハンガリー人少数派の権利擁護を掲げる。中心となるMKDH/MKDMの影響もあって、キリスト教民主主義的な志向が強いが、ESWSの潮流にはかなり強いハンガリー人ナショナリズムが見られる。

2-13

SNS (**Slovenská národná strana**): スロヴァキア国民党 <<http://www.sns.sk/>>

P SNS (**Pravá Slovenská národná strana**): 真性スロヴァキア国民党

1870年代からスロヴァキア人ナショナリズムを代表する政党がこの名称を使用した。この政党を構成した人びとは、その後いくつかの潮流に分かれるが、両大戦間期には右派の小政党がこの党名を名乗った。1990年3月にスロヴァキア共和国の自立を掲げるナショナリズム政党として、新たにSNSが結成された(登録は1990年3月7日、第1回党大会は5月19日)。1990年選挙、1992年選挙では連邦議会両院とスロヴァキア国民評議会議員を得た。1992年選挙後はHZDSと連携し、スロヴァキアの独立を唱道した。独立後最初の選挙であった1994年選挙では、5.40%の得票で9議席を得て、選挙後のメチアル内閣に連立与党として参加した。メチアル政権はハンガリー系民族少数派の言語に関する権利を制限するなどの政策によって注目されたが、そのような民族政策はSNSの連立与党での存在が強く影響していた。1998年選挙でも9.07%の得票で14議席を得ているが、反メチアル連合政権の成立によってSNSは下野した。2002年選挙では指導部内での対立からSNSとP SNS(2001年10月2日登録)の二派に分裂して選挙に臨み、いずれもが5%の得票を得られず、議席を失った。その後、分裂は改称され、2006年選挙では11.73%の得票で20を獲得し、選挙後にSMER-SDを中心とするフィツォ内閣に与党として参加した。この排斥主義的ナショナリズム政党との連立によって、SMER-SDは一時期、欧州社会党の加盟候補資格を停止されることになった。

2-14

SOP (**Strana občianskeho porozumenia**): 市民合意党

1998年に、コシツェ市長のルドルフ・シュステルRudolf Schusterによって設立された左派志向の政党(登録は2月19日)。同年の選挙で議席を得て、第一次ズリンド内閣の与党に加わる。また翌年5月に行われた大統領選挙でシュステルが与党の共同候補となり、当選を果たした。その後、党勢は衰えて、2002年の選挙には候補者を立てることができずに終わった。2003年4月の党大会でSMERとの合同を決定し、その活動を終えた。

2-15**SZS (Strana zelených na Slovensku): スロヴァキア緑の党****SZ (Strana zelených): 緑の党** <<http://www.stranazelenych.sk/>>

1990年に、スロヴァキア緑の党(SZS)とチェコの緑の党(SZ)が設立され、同年に両党は連邦レベルの政党として新たにSZを設立。1990年選挙で、同党はスロヴァキア国民評議会のみで議席を得た。1991年に同党のスロヴァキア組織は独立し、名称はSZSに戻った。2006年に再度SZと改称している。

2-16**VPN (Verejnost' proti násiliu): 暴力に反対する公衆**

1989年11月に広範な市民運動の連合体として組織され、チェコの市民フォーラム Občanské fórum (OF) とともにチェコスロヴァキアの体制変動を主導した。1990年選挙では連邦議会両院、スロヴァキア国民評議会第1党となり、連邦政府、共和国政府の両方で連立与党の軸を形成した。1991年5月にメチアルに率いられたグループがVPNから離脱すると、残ったリベラル派が同年10月にODÚを結成した。ODÚは1992年選挙で連邦維持を掲げて選挙に臨んだが、5%条項に阻まれて議席を得ることはできなかった。

2-17**ZRS (Združenie robotníkov Slovenska): スロヴァキア労働者連盟**

1994年4月にSDEから左派グループが分離して結成(登録は4月26日)。労働者、農民、知識人、その他の住民の利益を擁護する左翼政党を名乗る。党首のヤーン・リュプターク Ján Lupták の人気に支えられ、1994年選挙では7.35%の得票で13議席を得て、第3次メチアル内閣の与党となる。1998年以降、選挙には参加しているが議席を得ることはできていない。

注記

政党登録の日付はつぎの資料による：

REGISTER STRÁN Službu zabezpečuje Ministerstvo vnútra Slovenskej republiky, sekcia verejnej správy <http://portal.ives.sk/registre/starttps.do>

連邦時代の政党についての情報は次も参照した。

Jiří Malíř, Pavel Marek a kol. *Politické strany: Vývoj politických stran a hnutí v českých zemích a Československu v letech 1861-2004*, 2. díl 1938-2004, Brno, 2005.

Politické strany a hnutí v ČSFR 1992, Praha, 1992.

3 1989年12月以降の歴代内閣

1989年12月12日～1990年6月26日

- ミラン・チッチ Milan ČIČ 内閣

1990年6月27日～1991年4月22日

- 第一次ヴラジミール・メチアル Vladimír MEČIAR 内閣 (VPN, KDH, DS などの連立)

1991年4月23日～1992年6月24日

- ヤーン・チャルノグルスキー Ján ČARNOGURSKÝ 内閣 (VPN-ODÚ, KDH などの連立)

1992年6月24日～1994年3月15日

- 第二次メチアル内閣 (HZDS, SNS の連立)

1994年3月15日～12月13日

- ヨゼフ・モラウチーク Jozef MORAVČÍK 内閣 (DÚ, KDH, SDĽ の連立)

1994年12月13日～1998年10月30日

- 第三次メチアル内閣 (HZDS, SNS, ZRS の連立)

1998年10月30日～2002年10月15日

- 第一次ミクラーシュ・ズリンダ Mikuláš DZURINDA 内閣 (SDK, SDĽ, SMK/MKP, SOP の連立)

2002年10月16日～2006年7月4日

- 第二次ズリンダ内閣 (SKDÚ, KDH, SMK/MKP, ANO の連立)

2006年7月4日～

- ロベルト・フィツォ Robert Fico 内閣 (SMER-SD, SNS, ĽS-HZDS の連立)

4 資料

スロヴァキア国民評議会選挙結果

1990年選挙
(6月8～9日)

登録有権者	3,622,650
投票数	3,455,651
投票率	95.39
有効投票数	3,377,726

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
VPN	991,285	29.35	48	32.0
KDH	648,782	19.21	31	20.7
SNS	470,984	13.94	22	14.7
KSČ	450,855	13.35	22	14.7
ESWMK	292,636	8.66	14	9.3
DS	148,567	4.40	7	4.7
SZ	117,871	3.49	6	4.0
SPV	85,060	2.52	0	0.0
SD	61,401	1.82	0	0.0
SSL	60,041	1.78	0	0.0
DÚRS	24,797	0.73	0	0.0
HČSP	13,417	0.40	0	0.0
VDSPR	7,023	0.21	0	0.0
SB	3,326	0.10	0	0.0
ČSS	1,166	0.03	0	0.0
ČSDF	515	0.02	0	0.0
Total	3,377,726	100.00	150	100.0

1992年選挙
(6月5～6日)

登録有権者	3,770,073
投票数	3,174,436
投票率	84.20
有効投票数	3,082,696

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
HZDS	1,148,625	37.26	74	49.3
SDĽ	453,203	14.70	29	19.3
KDH	273,945	8.89	18	12.0
SNS	244,527	7.93	15	10.0
MKM-EGY	228,885	7.42	14	9.3
ODÚ	124,503	4.04	0	0.0
SDSS	123,426	4.00	0	0.0
DS-ODS	102,058	3.31	0	0.0
SKDH	94,162	3.05	0	0.0
MPP-MOS	70,689	2.29	0	0.0
SZS	66,010	2.14	0	0.0
SZ	33,372	1.08	0	0.0
SPI	29,818	0.97	0	0.0
KSS	23,349	0.76	0	0.0
ROI	18,343	0.60	0	0.0
ZPR-RSČ	10,069	0.33	0	0.0
SSL-SNZ	9,414	0.31	0	0.0

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
SLS	9,129	0.30	0	0.0
HZOS	7,169	0.23	0	0.0
HSD-SMS	3,986	0.13	0	0.0
HSS	3,411	0.11	0	0.0
NALI	2,500	0.08	0	0.0
HZSP-SRÚ	2,103	0.07	0	0.0
TOTAL	3,082,696	100.00	150	100.0

1994年選挙
(9月30日～
10月1日)

登録有権者	3,876,555
投票数	2,923,265
投票率	75.65
有効投票数	2,875,458

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
HZDS-RSS	1,005,488	34.97	61	40.5
SP.VOLBA	299,496	10.42	18	12.0
MK	292,936	10.19	17	11.3
KDH	289,987	10.08	17	11.3
DÚ	246,444	8.57	15	10.0
ZRS	211,321	7.35	13	8.7
SNS	155,359	5.40	9	6.0
DS	98,555	3.43	0	0.0
KSS	78,419	2.72	0	0.0
KSÚ	59,217	2.06	0	0.0
NS	38,369	1.33	0	0.0
SPK	37,929	1.32	0	0.0
HZPČS	30,292	1.05	0	0.0
ROISR	19,542	0.68	0	0.0
SD	7,121	0.25	0	0.0
RSDSS	3,573	0.12	0	0.0
ZPR-REP	1,410	0.05	0	0.0
TOTAL	2,875,458	100.00	150	100.0

1998年選挙
(9月30日～
10月1日)

登録有権者	4,023,191
投票数	3,385,536
投票率	84.15
有効投票数	3,359,176

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
HZDS	907,103	27.00	43	28.7
SDK	884,497	26.33	42	28.0
SDL	492,507	14.66	23	15.3
SMK-MKP	306,623	9.13	15	10.0
SNS	304,839	9.07	14	9.3
SOP	269,343	8.02	13	8.7
KSS	94,015	2.80	0	0.0
ZRS	43,809	1.30	0	0.0
NSK	16,192	0.48	0	0.0
SLS	9,227	0.27	0	0.0
MLHZP	6,587	0.20	0	0.0
NEI	6,232	0.19	0	0.0
SNJ	4,688	0.14	0	0.0

1998年選挙
(9月30日～
10月1日)
※前ページからのつづき

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
B-RRS	4,391	0.13	0	0.0
JSP	3,574	0.11	0	0.0
NaAS	3,034	0.09	0	0.0
HTC	2,515	0.07	0	0.0
TOTAL	3,359,176	100.00	150	100.0

2002年選挙
(9月20日～21日)

登録有権者	4,157,802
投票数	2,909,998
投票率	69.99
有効投票数	2,875,081

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
HZDS	560,691	19.50	36	24.0
SDKÚ	433,953	15.09	28	18.7
SMER	387,100	13.46	25	16.7
SMK-MKP	321,069	11.17	20	13.3
KDH	237,202	8.25	15	10.0
ANO	230,309	8.01	15	10.0
KSS	181,872	6.33	11	7.3
P SNS	105,084	3.65	0	0.0
SNS	95,633	3.33	0	0.0
HZD	94,324	3.28	0	0.0
SDA	51,649	1.80	0	0.0
SDL	39,163	1.36	0	0.0
SZS	28,365	0.99	0	0.0
NOSNP	26,205	0.91	0	0.0
ZRS	15,755	0.55	0	0.0
ŽAR	12,646	0.44	0	0.0
OKS	9,422	0.33	0	0.0
ROSA	8,699	0.30	0	0.0
ROISR	8,420	0.29	0	0.0
SDPO	6,716	0.23	0	0.0
LB	6,441	0.22	0	0.0
ROMA	6,234	0.22	0	0.0
SNJ	4,548	0.16	0	0.0
B-RRS	2,818	0.10	0	0.0
LS	763	0.03	0	0.0
TOTAL	2,875,081	100.00	150	100.0

2006年選挙
(6月17日)

登録有権者	4,272,517
投票数	2,335,917
投票率	54.67
有効投票数	2,303,139

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
SMER	671,185	29.14	50	33.3
SDKÚ-DS	422,815	18.35	31	20.7
SNS	270,230	11.73	20	13.3
SMK-MKP	269,111	11.68	20	13.3
LS-HZDS	202,540	8.79	15	10.0
KDH	191,443	8.31	14	9.3
KSS	89,418	3.88	0	0.0

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
SF	79,963	3.47	0	0.0
ANO	32,775	1.42	0	0.0
HZD	14,728	0.63	0	0.0
NÁDEJ	14,595	0.63	0	0.0
I'B	9,174	0.39	0	0.0
ZRS	6,864	0.29	0	0.0
OKS	6,262	0.27	0	0.0
SLNKO	4,016	0.17	0	0.0
SLS	3,815	0.16	0	0.0
ASV	3,160	0.13	0	0.0
PS	3,118	0.13	0	0.0
SDL'	2,906	0.12	0	0.0
Misia 21	2,523	0.10	0	0.0
S.O.S.	2,498	0.10	0	0.0
TOTAL	2,303,139	100.00	150	100.0

スロヴァキア大統領選挙結果

1999年選挙

●第一次投票（5月15日）

登録有権者	4,038,899
投票数	2,984,424
投票率	73.89
有効投票数	2,948,402

※投票数は投票所で
投票用紙を受けとった人

候補者名	有効投票数	得票率	備考
Rudolf Schuster	1,396,950	47.37	SOP 党首、与党共同候補
Vladimír Mečiar	1,097,956	37.23	HZDS 党首、元首相
Magdaléna Vášáryová	194,635	6.60	社会学者、女優、元大使
Ivan Mjartan	105,903	3.59	元大使
Ján Slota	73,836	2.50	SNS 党首
Boris Zala	29,697	1.00	大学教員、元 SDSS 党首
Juraj Švec	24,077	0.81	元コメンスキー大学学長
Juraj Lazarčík	15,386	0.52	大学教員、KSS 候補
Ján Demikát	4,537	0.15	起業家、NAS
Michal Kováč	5,425	0.18	元大統領、立候補取り下げ
合計	2,948,402	100.00	

●第二次投票（5月19日）

登録有権者	4,041,181
投票数	3,049,221
投票率	75.45
有効投票数	3,021,123

候補者名	有効投票数	得票率
Rudolf Schuster	1,727,481	57.18
Vladimír Mečiar	1,293,642	42.81
合計	3,021,123	100.00

2004年選挙

●第一次投票(5月15日)

登録有権者	4,204,899
投票数	2,015,889
投票率	47.94
有効投票数	1,986,214

候補者名	有効投票数	得票率	備考
Vladimír Mečiar	650,242	32.73	HZDS 党首、元首相
Ivan Gašparovič	442,564	22.28	元国民評議会議長
Eduard Kukan	438,920	22.09	外務大臣
Rudolf Schuster	147,549	7.42	元大統領
František Mikloško	129,414	6.51	KDH 国民評議会議員
Martin Bútora	129,387	6.51	社会学者、大学教員、公共問題研究所理事長
Ján Králik	15,873	0.79	経済学者、Banská Bystrica 市長
Jozef Kalman	10,221	0.51	元副首相
Július Kubík	7,734	0.38	企業家
Jozef Šesták	6,785	0.34	元外務次官
Stanislav Bernát	5,719	0.28	Martin 市長
Ľubomír Roman	1,806	0.09	俳優、元国民評議会議員 (ANO)
合計	1,986,214	100.00	

●第二次投票(5月19日)

登録有権者	4,202,597
投票数	1,828,307
投票率	43.5
有効投票数	1,801,960

候補者名	有効投票数	得票率
Ivan Gašparovič	1,079,592	59.91
Vladimír Mečiar	722,368	40.08
合計	1,801,960	100.00

スロヴァキア欧州議会選挙結果

第1回選挙
(2004年6月13日)

登録有権者	4,210,463
投票数	714,508
投票率	16.96
有効投票数	701,595

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
SDKÚ	119,954	17.09	3	21.43
ĽS-HZDS	119,582	17.04	3	21.43
SMER	118,535	16.89	3	21.43
KDH	113,655	16.19	3	21.43
SMK-MKP	92,927	13.24	2	14.29
ANO	32,653	4.65	0	0.00
KSS	31,908	4.54	0	0.00
SF	22,804	3.25	0	0.00
SNS, P SNS	14,150	2.01	0	0.00
HZD, ĽÚ	11,914	1.69	0	21.43
OKS	7,060	1.00	0	0.00
AŽ-OS	4,940	0.70	0	0.00
RKDH	4,856	0.69	0	0.00
ŽS SR	2,464	0.35	0	0.00
MFS	1,598	0.22	0	0.00
DÚ	1,354	0.19	0	0.00
SĽS	1,241	0.17	0	0.00
Total	6,091,531	100.00	14	100.00

データの出典

選挙結果

国民評議会選挙(統計局のHP)

http://www.statistics.sk/webdata/_slov/volby/volby90/uvod90.htm

http://www.statistics.sk/webdata/_slov/volby/volby92/uvod92.htm

<http://www.statistics.sk/volby98/1994/index.htm>

<http://www.statistics.sk/volby98/default.htm>

<http://www.statistics.sk/volby2002/default.html>

http://www.statistics.sk/nrsr_2006/

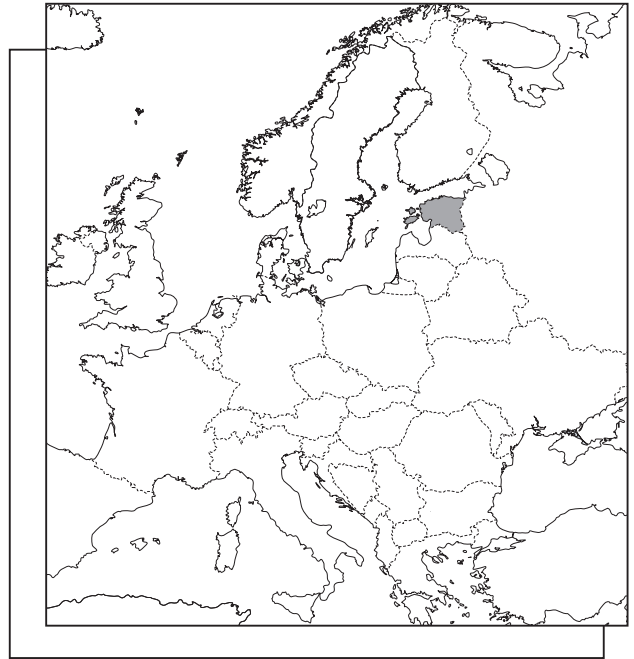
欧州議会選挙(統計局のHP)

<http://www.statistics.sk/volbyep2004/>

大統領選挙(統計局のHP)

<http://www.statistics.sk/prezid99/index.jsp>

<http://www.statistics.sk/prezident2004/>



エストニア政党・選挙データ

1. 政治制度と選挙制度

- 1-1 議会制度と議会選挙
- 1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

2. 主要政党の概要

- 2-1 EK
- 2-2 EME
- 2-3 ERL
- 2-4 ERSP
- 2-5 EÜRP
- 2-6 IL
- 2-7 IRL
- 2-8 K
- 2-9 EKD
- 2-10 RE
- 2-11 RP
- 2-12 SDE

3. 1992年選挙後の歴代内閣

4. 資料

1 政治制度と選挙制度

1-1 議会制度と議会選挙

議会制度のあらまし

エストニアの議会 (Riigikogu) は、定数101の一院制である。任期は4年で、国会議員の過半数により内閣ないし首相への不信任案が提出された場合、内閣の提案により議会は解散される。議会選挙への選挙権は18歳以上、被選挙権は21歳以上の国民に付与される。なお、地方議会選挙では、恒常的にエストニアに居住する外国籍者および無国籍者に選挙権が認められている。

選挙制度

エストニアの選挙制度は、1992年の選挙法以来、選挙ごとに若干の修正加えられたが、大きな変更はない(変更点としては、選挙連合の禁止など)。選挙は、12選挙区(1995年は11選挙区)ごとに、拘束名簿式比例代表制で行われる。有権者は特定の候補者ないし政党のいずれにも投票できる。各選挙区の定数は、有権者数により決定し、議席の分配は、3段階に分かれる。第1段階では、選挙区ごとに有効投票数を定数で割って得られた基数を超えた得票を獲得した個人候補者に議席が配分される。第2段階では、全国で5%を超えた政党の候補者を得票数の多い順に並べ替える。候補者の得票を合計し、基数で割り、基数の75%で1議席を得る。ただし、個人の得票が基数の10%以上であることを条件とする。第3段階では、修正ドント方式を採用し、5%を超えた政党の全国区の名簿の上位から残りの議席が配分される。この場合は個人の得票数が5%以上であることを条件とする。少数民族条項は存在しないが、1995年、99年の選挙では、候補者にエストニア語の運用能力が要求された。

1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

大統領の選出方法は、1992年憲法および大統領選挙法により規定されている。大統領は国会議員の間接選挙により選出される。選出には国会議員の3分の2以上の得票が必要である。1回目の投票でこれを満たす候補者がいない場合には、翌日に2回目の投票が行われる。2回目の投票には、1回目の投票とは別の候補者を立てることが可能である。2回目の投票で、3分の2の得票を獲得した候補者がいない場合には、2回目の選挙に立候補した候補者のうち上位2名の間で、同日、3回目の投票が行われる。3回目の投票でいずれの候補者も選出されない場合には、国会議長は選挙人団を招集する。選挙人団は、国会議員ならびに地方議会議員の代表により構成される。選挙人団は過半数の得票により大統領を選出する。1回目の投票で過半数を超える候補者がいない場合には、上位2名の間で、2回目の投票を同日行う。

大統領の権限は主として外交および軍事に関する側面を中心とするが(憲法78条)、議会との関係では大統領は首相候補者を指名し、同首相候補者が組織した内閣が国会の承認を受けた場合に首相および閣僚の任命を行う。また国会が採択した法案について、これを国会に再送付する権利を有し(いわゆる拒否権)、国会が修正をしない形で再度法案を採択した場合には、最高裁判所にその合憲性の審議を求めることができる。

2 主要政党の概要

2-1 EK (Estonia Coalition Party, Eesti Koondrakond): 連合党

中道右派。ソ連時代の国営企業エリートを中心に1991年に結成。1992年の選挙では、農村の利益を代表する地方連合などとともに選挙連合「確実な家」を結成し、17議席を獲得。1995年の選挙で、地方人民党との選挙連合で第一党となり、1995-1999年まで政権の中枢を担う。2001年に解党。

2-2 EME (Estonia Rural People's Party, Eesti Maarahva Erakond): エストニア地方人民党

ソ連時代にエストニア・ソヴィエト社会主義共和国最高会議議長を務め、2001年から2006年までは大統領の地位にあったアルノルト・リュートルによって1994年に結成。1995年選挙には、連合党との選挙リスト(KMÜ)に参加。

2-3 ERL (Peoples' Union, Eestimaa Rahvaliid): エストニア人民連合 <<http://www.erl.ee/>>

中道左派の農民党。1994年にエストニア地方人民党として結成され、1999年に現在の党名に改称。2000年、地方連合 Estonian Country Union (EML) およびエストニアの年金生活者・家族党 Estonian Party of Pensioners and Families (EPPE) と合併。2000年までリュートルが党首を務めたことで、一定の支持を得ていた。2003年の選挙で13議席を獲得し、政権に参加。

2-4 ERSP (Estonian National Independence Party, Eesti Rahvusliku Sõltumatuse Partei): エストニア民族独立党

1987年夏に結成されたモロトフ・リップンドロップ条約公表エストニア・グループを母体とし、エストニアの独立を掲げて1988年に結成。反共産主義的政党。1995年に祖国連合に合併。

当初の党首はソ連時代の異論派であるラクレ・パレック (1988-1991)。民族としてのエストニア人の存続を何よりも重視し、そのためには「国民国家」が必要であるとの立場に立った。1990年2月、当時の最高会議を占領機関とみなし、その代替議会となるエストニア議会 (Eesti kongress) の選挙を実施。後に祖国連合の党首となるトゥンネ・ケラムも同党の指導的立場にあった。

独立後最初の選挙では10議席を獲得し、政権に参加した。

2-5 EÜRP (Estonian United Peoples' Party, Eestimaa Ühendatud Rahvapartei): エストニア統合人民党 <<http://www.kpartei.ee/>>

ロシア語系政治勢力によって結成。1995年、1999年の選挙で議席を獲得。主に、ロシア語系住民を支持基盤とする。2000年、一部がエストニアのロシア・バルト党を結成し離党。

2006年に憲法党(Constitution Party、Konstitutsioonierakond)に改名。

2-6

IL (Pro Patria Union、 Isamaaliit):
祖国連合

ERSPと「祖国」の合併により1995年に設立。1992-1995年、マルト・ラール政権下で「脱植民地化・脱ソヴィエト化」政策を推進。中道右派の民族主義的保守政党。

2-7

IRL (Union of Pro Patria and Res Republica、 Isamaa ja Res Publica Liit):
祖国・共和国連合 〈<http://www.isamaajarespublicaliit.ee/>〉

保守・中道右派政党。2006年、祖国連合と政党「共和国」の合併により設立。2007年選挙で17議席を獲得し、政権に参加。党首は旧祖国連合のマルト・ラール。

2-8

K (Estonian Centre Party、 Eesti Keskerakond):
中央党 〈<http://keskerakond.ee/>〉

社会主義的自由主義を掲げ、人民戦線の後継政党として1991年に設立。当初の党名はエストニア人民-中央党。左翼中道。党首は人民戦線の中心人物であったエトカル・サヴィサール。1992年の選挙以来有力政党。ロシア語系住民からの支持も集める。2004年、スヴェン・ミクセル(元防衛大臣)ら有力党員が、権威主義的な党の運営方針に抗議して離党するも、党の人気は衰えず。離党した議員は、2005年に社会民主党に合流。

2-9

EKD (Party of Estonia Christian democrats、 Erakond Eesti Kristlikud Demokraadid) キリスト教民主主義者党 〈<http://www.ekd.ee/>〉

1998年結成。2006年までキリスト教人民連合。キリスト教的保守主義を掲げ、EU憲法条約に反対の立場をとる。1999年以降3度の選挙に候補者を立てているが、得票で5%を超えたことはない。

2-10

RE (Estonian Reform Party、 Eesti Reformierakond)
改革党 〈<http://www.reform.ee/>〉

シーム・カッラスによって1994年に結成。カッラスは、エストニア中央銀行総裁、首相(2002-2005)、欧州委員(2004-)を歴任。市場経済推進の右派。

2007年の選挙で、アンドルス・アンシップ党首の下、「ブロンズ兵士の像」の移転など、民族主義的な政策を掲げて、中央党を抑え第一党になる(31議席)。

2-11

RP (Union of the Republic - Res Republica、 Ühendus Vabariigi Eest - Res Publica) 「共和国」 〈<http://www.sotsdem.ee/>〉

2001年結成。政党としての登録は2002年。保守。既存政党へのオールタナティブとして支

持を集め、2003年の選挙で28議席を獲得、政権を率いた。2004年8月にリフラでおきた記念碑の撤去問題や閣僚の相次ぐ不祥事で、2005年4月に、同党党首ユハン・パルツ率いる内閣は総辞職した。2006年に祖国連合と合併し、祖国・共和国連合を結成。

2-12

SDE (Social Democratic Party, Sotsiaaldemokraatlik Erakond)
社会民主党

1990年、エストニア民主労働党、エストニア社会民主独立党、ロシア社会民主党、エストニアおよび亡命系の両エストニア社会民主党によって設立。1996年、エストニア農村中央党と合併し、穏健党Moderates (Mõõdukad) に改称。98年、現大統領トーマス・ヘンドリック・イルヴェスのエストニア人民党が合併。2004年、党名を社会民主党に戻す。中道右派の中でも左派より。

3 1992年選挙後の歴代内閣

1992年10月21日～1994年11月8日

- マルト・ラール Mart Laar 内閣 (「祖国」、 「穏健」、 民族独立党の連立)

1994年11月8日～1995年4月17日

- アンドレス・タラント Andres Tarand 内閣 (「穏健」政権)

1995年4月17日～1995年11月6日

- ティート・ヴァヒ Tiit Vähi 内閣 (連合党・農村人民連合、中央党の連立)

1995年11月6日～1997年3月17日

- ティート・ヴァヒ Tiit Vähi 内閣 (連合党・農村人民連合、年金生活者と家族連合、改革党の連立)

1997年3月17日～1999年3月25日

- マルト・シーマン Mart Siiman 内閣 (連合党・農村人民連合単独少数派内閣)

1999年3月25日～2002年1月28日

- マルト・ラール Mart Laar 内閣 (祖国連合、改革党、「穏健」)

2002年1月28日～2003年4月10日

- シーム・カッラス Siim Kallas 内閣 (改革党と中央党の連立)

2003年4月10日～2005年4月13日

- ユハン・パルツ Juhan Parts 内閣 (「共和国」、改革党、、人民連合の連立)

2005年4月13日～2007年4月5日

- アンドルス・アンシップAndrus Ansip内閣(改革党、中央党、人民連合の連立)

2007年4月5日～

- アンドルス・アンシップAndrus Ansip内閣(改革党、祖国・共和国連合、社民党の連立)

4 資料

エストニア国会選挙結果

1992年選挙
(9月20日)

登録有権者	689,241
投票数	467,628
投票率	67.84
有効投票数	458,266

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
VL Isamaa	100,828	22.00	29	28.71
VL Kindel Kodu	62,329	13.60	17	16.83
VL Rahvarinne	56,124	12.25	15	14.85
VL Mõõdukad		9.73	12	11.88
ERSP	40,260	8.79	10	9.90
VL Eesti kodanik	31,553	6.89	8	7.92
VL Sõltumatud Kuningriiklased	32,638	7.12	8	7.92
EPL	17,011	3.71	0	0.00
Põllumeeste Kogu	13,356	2.91	0	0.00
Eesti Ettevõtjate Erakond	10,953	2.39	1	0.99
VL Rohelised	12,009	2.62	1	0.99
VL Vasakvõimalus	7,374	1.61	0	0.00
ÕRRE	4,263	0.93	0	0.00
Eesti Invaliidide Liit	2,262	0.49	0	0.00
Halastus	1,852	0.40	0	0.00
VL Demokraadid	744	0.16	0	0.00
Loodusseaduse Partei	368	0.08	0	0.00
無所属	19,753	4.31	0	0.00
合計			101	

1995年選挙
(3月5日)

登録有権者	790,392
投票数	545,825
投票率	69.06%
有効投票数	540,699

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
VL KMU	174,248	32.23	41	40.59
Reformerakond	87,531	16.19	19	18.81
Keskerakond	77,634	14.17	16	15.84
VL Isamaa ja ERSP	42,493	7.86	8	7.92
VL Mõõdukad	32,381	5.99	6	5.94
VL Meie Kodu on Eestimaa	31,763	5.87	6	5.94
Parempoolsed	27,053	5	5	4.95
VL Parem Eesti/Eesti Kodanik	19,529	3.61	0	0.00
Tuleviku Eesti Erakond	13,907	2.57	0	0.00
VL Õigus	12,248	2.27	0	0.00
Eesti Talurahva Erakond	8,146	1.51	0	0.00
VL Neljas Jõud (Eesti Rojalistlik Partei ja Eesti Rohelised)	4,377	0.81	0	0.00
Eesti Rahvuslaste Kesklit	3,477	0.64	0	0.00
Metsaerakond	3,239	0.6	0	0.00
ESE	1,913	0.35	0	0.00
EDL	316	0.06	0	0.00
無所属	1,444	0.27	0	0.00
合計			101	

1999年選挙
(3月7日)

登録有権者	857,270
投票数	492,356
投票率	57.43
有効投票数	484,239

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
Keskerakond	113,378	23.41	28	27.72
Isamaaliit	77,917	16.09	18	17.82
Reformierakond	77,088	15.92	18	27.82
Mõõdukad	73,630	15.21	17	16.83
Koonderakond	36,692	7.58	7	6.93
Eesti Maarahva Erakond	35,204	7.27	7	6.93
EÜRP	29,682	6.13	6	5.94
EKRP	11,745	2.43	0	0.00
Vene Erakond Eestis	9,825	2.03	0	0.00
ESE	7,745	1.6	0	0.00
Põllumeeste Kogu	2,421	0.5	0	0.00
Arengupartei	1,854	0.38	0	0.00
無所属	7,058	1.46	0	0.00
合計			101	

2003年選挙
(3月2日)

登録有権者	859,714
投票数	500,686
投票率	58.24
有効投票数	494,888

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
Eesti Keskerakond	125,709	25.4	28	27.72
Res Publica	121,856	24.6	28	27.72
Reformierakond	87,551	17.7	19	18.81
Eestimaa Rahvaliit	64,463	13.0	13	12.87
Isamaaliit	36,169	7.3	7	6.93
SDE	34,837	7.0	6	5.94
EÜRP	11,113	2.2	0	0.00
Eesti Kristlik Rahvapartei	5,275	1.1	0	0.00
Eesti Iseseisvuspartei	2,705	0.5	0	0.00
Eesti Vasakpartei	2,059	0.4	0	0.00
Vene Eesti Erakond	990	0.2	0	0.00
無所属	2,161	0.4	0	0.00
合計			101	

2007年選挙
(3月4日)

登録有権者	897,243
投票数	555,463
投票率	61
有効投票数	550,213

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
Reformierakond	153,044	27.8	31	30.69
Eesti Keskerakond	142,518	26.1	29	28.71
IRL	98,347	17.9	19	18.81
SDE	58,363	10.6	10	9.90
EER	39,279	7.1	6	5.94
Eestimaa Rahvaliit	39,215	7.1	6	5.94
EKD	9,456	1.7	0	0.00
KoE	5,464	1.0	0	0.00
Eesti Iseseisvuspaeitei	1,273	0.2	0	0.00
Vene Eesti Erakond	1,084	0.2	0	0.00
Eesti Vasakpartei	607	0.1	0	0.00
無所属	563	0.1	0	0.00
合計			101	

エストニア欧州議会選挙結果

第1回選挙
(2004年6月13日)

登録有権者	873,809
投票者数	
投票率	26.83
投票数	234,485
有効投票数	232,230

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数
SDE	85,429	36.8	3
Keskerakond	40,703	17.5	1
Reformerakond	28,372	12.2	1
Isamaaliit	24,374	10.5	1
Rahvaliid	18,687	8	
Res Publica	15,457	6.7	
EDP	2,849	1.2	
Eesti Pensionäride Erakond	1,329	0.6	
Sotsiaaldemokraatlik ITööpartei	1,057	0.5	
Vene Erakond Eestis	805	0.3	
無所属	13,168	5.7	
合計			6

データの出典

選挙結果・選挙制度

<http://erakonnad.instituut.ee/index.html>

<http://www.vvk.ee/>

政党概要

<http://erakonnad.instituut.ee/index.html>

参考文献

Rein Toomla, *Eesti Erakond*, Tallinn, 1999.

CIAS Discussion Paper No.9

ポスト社会主義諸国 政党・選挙ハンドブック I

発行 2009年3月

編集 ポスト社会主義諸国の政党・選挙データベース作成研究会

発行者 京都大学地域研究統合情報センター
京都市左京区吉田下阿達町46 〒606-8501
電話: 075-753-9603
FAX: 075-753-9602
E-mail: ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp
<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp>

「ポスト社会主義諸国政党・選挙ハンドブック I」訂正

6 ページ

「1991 年選挙」の項の 2 行目

誤) 「391 議席は 52 の地方選挙区」

正) 「391 議席は 36 の地方選挙区」

「1993 年および 1997 年選挙」の項の 2 行目から 3 行目

誤) 「下院 460 議席の内 391 議席が 52 の地方選挙区、残りの 69 議席が全国区に割り当てられる点は 1991 年選挙と同じであるが、全国区での」

正) 「下院 460 議席の内 391 議席が地方選挙区、残りの 69 議席が全国区に割り当てられる点は 1991 年選挙と同じであるが、地方選挙区の数が 36 から 52 となり、また全国区での」

52 ページ

「1992 年選挙」

誤) VL Mõõdkad の得票数: 空欄

正) 「44,577」

53 ページ

「1995 年選挙」

誤) Keskerakond の得票数「77,634」

正) 「76,634」

54 ページ

「2007 年選挙」

誤) Eesti Keskerakond の得票数「142,518」

正) 「143,518」